

Motorola SURFboard[®]

SBG6580J Wi-Fi ケーブルモデム
ゲートウェイ





© 2010 Motorola, Inc. All rights reserved. この文書のいかなる部分も、またいかなる方法によっても、目的にかかわらず、モトローラの書面による許可なく複製、または派生的な作業(翻訳、変換、適応など)の対象にすることを禁じます。モトローラおよび M 形状のロゴはモトローラ社の登録商標です。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。

モトローラは、この文書を改訂する権利、および内容に適宜変更を加える権利を留保し、モトローラのいかなる部門もそのような改訂または変更に関する通知を行う義務を負わないものとします。モトローラはこのガイドを、明示または黙示に関わらず、商品性、特定目的への適合性を含む(ただし、必ずしもこれらに限定されない)、いかなる保証を負担することなく提供します。モトローラはこの文書で説明されている製品に対して適宜改良または変更を加えることがあります。



目次

安全性および法規制に関する情報

1. はじめに

1.1 同梱品	1
1.2 問い合わせ情報	1
1.3 システム要件	2

2. 製品概要

2.1 フロントパネル	3
WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能について	4
2.2 リアパネル	4

3. モデムの設置

3.1 SBG6580J の接続	5
------------------------	---

4. インターネットへの接続

4.1 インターネット接続のテスト	6
4.2 パソコンの LAN 設定	6
4.2.1 有線 LAN で接続する場合	6
4.2.1.1 Windows XP での TCP/IP の設定	6
4.2.1.2 Windows Vista での TCP/IP の設定	7
4.2.1.3 Windows 7 での TCP/IP の設定	7
4.2.1.4 Macintosh での TCP/IP の設定	8
4.2.2 無線 LAN(Wi-Fi)で接続する場合	8
4.3 Windows XP または Windows Vista、7 での IP アドレスの更新	8

5. グラフィカルユーザーインターフェイス

5.1 基本設定画面表示	9
5.2 設定画面構成	10

6. ステータス メニュー

6.1 ソフトウェアに関する情報の確認	11
6.2 接続状態の確認	12
6.3 セキュリティに関する設定	12
6.3.1 デフォルトパスワードの変更	12
6.3.2 デフォルト設定の復元	13
6.4 接続診断ツール	14
6.5 モデムの再起動	17



7. 基本設定	
7.1 セットアップ	18
7.2 DHCP	20
7.3 バックアップ	22
設定情報のバックアップの作成	22
バックアップを使用したモデム設定の復元	22
8. 詳細設定	
8.1 オプション	23
8.2 IP フィルタリング	25
8.3 MAC フィルタリング	26
8.4 ポートフィルタリング	27
8.5 ポートフォワーディング	28
8.6 ポートトリガー	30
8.7 DMZ ホスト	32
9. ファイアウォール設定	
10. Wi-Fi ネットワークの作成	
10.1 基本設定	35
10.2 プライマリネットワークの設定	37
無線セキュリティの設定および接続方法	38
WPS 機能を使用した Wi-Fi ネットワークの作成	39
10.3 ゲストネットワークの設定	41
10.4 アクセス制御の設定	44
10.5 WMM (Wi-Fi マルチメディア) の設定	46
A. トラブルシューティング	
フロントパネルアイコンおよびエラー状態	48
B. 製品仕様	
C. ソフトウェアライセンスおよび保証	
ソフトウェアライセンス	52
保証に関する情報	54



i

安全性および法規制に関する情報

安全に関する重要な指示

使用前にお読みください。

装置を使用する際は、火災、感電および人身負傷の危険を軽減するために、以下を含む基本的な安全予防策を取る必要があります。

- 本装置を操作する前に、本項および／または取扱説明書をお読みください。すべての安全予防策に、特に注意を払ってください。今後参照できるように、この説明書を保管してください。
- 本装置は、装置に付属する文書に記載されている製造元の指示に厳密に従って設置および使用される必要があります。
- 指示の中にあるすべての警告および注意に従ってください。本装置に添付されているすべての警告および注意の記号に注意してください。
- 火災または感電を防ぐため、本装置を雨のかかる場所または湿気の多い場所に置かないでください。本装置に水滴や飛沫がかからないようにしてください。花瓶など、水の入った容器を装置の上に置かないでください。また、結露の影響を受ける場所に本装置を設置しないでください。
- 本装置はシステムコンポーネント間で付属ケーブルを使用した状況でテストされ、承認されています。法規制および安全性を遵守するため、付属している電源ケーブルのみを使用してください。
- 主電源回路への接続にはさまざまな種類のコードを使用することができます。
- 本装置の設置方法は、国内の配線規則および地方自治体の規制に適合している必要があります。
- 本装置には、本装置のラベルに表示されている種類の電源のみを使用してください。ご自宅に供給されている電源の種類がわからない場合は、販売元あるいは地域の契約ケーブルテレビ会社または契約電力会社にご相談ください。
- 火災または感電の危険があるため、コンセントまたは延長コードに差し込むプラグを過度に多くしないでください。AC コンセントへのたこ足配線、延長コード、擦り切れた電源コード、損傷またはひびの入ったワイヤ被覆および破損したプラグのご使用は危険です。これらは感電および火災を発生させるおそれがあります。
- コードを踏んだり、上に置かれた物や接触する物によってコードが挟まれないよう、電源コードを配線してください。プラグまたは多機能コンセントに差し込まれているコードには特に注意するとともに、この装置への差し込み口を点検してください。
- 電源コードの長さに合わせて、本装置を電源コンセントに十分近い場所に設置してください。
- 装置の電源コードまたはアダプタを壁面の AC コンセントから取り外せるよう、本装置を簡単に手の届く場所に設置してください。
- プラグを延長コード、コンセント、または他の差し込み口に接続するときは、プラグの先端部分が見えなくまるまで完全に差し込んでください。
- 本装置は安定した場所に設置してください。
- アースされた同軸ケーブルテレビ差し込み口へケーブルモデムを接続する時、同軸ケーブルに触れてケーブルモデムが静電気によって損傷することを避けてください。
- イーサネットケーブルをケーブルモデムまたはパソコンから切断または再接続する際、必ず最初にケーブルモデムにある同軸ケーブルコネクタに触れてください。



- 本装置の接続先 AC コンセントに、交流サージ保護器を設置することを推奨します。保護器は、落雷や他の電気サージによる装置への損傷を防ぎます。
- 雷雨または稲妻発生の危険があるときは、本装置を設置しないでください。
- 本装置を覆ったり他の物で空気の流れをふさいだりしないでください。本装置は、高温多湿を避けた場所や、振動およびほこりのない場所に設置してください。
- 本装置は清潔で乾燥した布を使用してふいてください。クリーニング液あるいはそれに類似した化学薬品は絶対に使用しないでください。本装置にクリーナーを直接噴霧しないでください。ほこりを取り除くには、エアスプレーなどを使用してください。
- 本装置のサービスまたは修理が完了したら、本装置が安全に操作できる状態であることを確認するため、サービス技術者に安全点検を依頼してください。
- 本装置を分解しないでください。設置やトラブルシューティングに関する指示に含まれていないサービスは実施しないでください。どのサービスについても、資格を有するサービス担当者にご相談ください。
- 室温が 40° C を超える場所で本装置を使用しないでください。

これらの指示を保存してください

CATV システム設置者への注記: この注記は、特に同軸ケーブルシールドが建物のアースシステムを実質上最もケーブル入口に近くに接続すべきであることを指定している、適切なアース方法に関するガイドラインを提供する米国 National Electric Code (米国電気規則) のセクション 820.93 について、CATV システムの設置者に対し注意を促すものです。

リサイクルによる環境への配慮



モトローラ製品にこの記号が表示されている場合は、製品を家庭廃棄物または商業廃棄物として処分しないでください。

モトローラ装置のリサイクル



モトローラ製品にこの記号が表示されている場合は、製品を家庭廃棄物または商業廃棄物として処分しないでください。欧州連合などの国または地域によっては、電気電子廃棄物を収集およびリサイクルするシステムがあります。お住まいの地域で決められている方法については、地方自治体にお問い合わせください。

FCC 適合宣言

FCC 干渉適合宣言

本装置は、テストの結果、FCC 規則パート 15 に基づくクラス B デジタル装置の条件に準拠していることが確認されています。これらの条件は、住宅環境で有害な電波干渉を適切に防止することを目的としています。本装置は電磁波を発生および使用しており、電磁波を放出する可能性があるため、設置および使用に際して説明書に従わない場合、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件に従えば電波干渉が起これないと保証されるものではありません。本装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ/オンにすることで確認できます）、次のいずれかの方法を試して、問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向または位置を変更する。
- 装置と受信機の間隔を空ける。
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに装置を接続する。





- ラジオ/テレビの販売店または技術専門者に相談する

この装置は FCC 規則パート 15 に準拠しています。以下の 2 つの条件を前提として動作します。(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさず、(2) 本装置は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて、どのような干渉も許容する必要があります。

FCC 警告: 法令に関連してモトローラが明示的に承認していない変更または修正を行うと、機器の使用に関するユーザーの権限が無効になる場合があります。

5150～5250MHz 帯の使用は屋内のみに制限されています。

FCC 照射適合宣言

本装置は、非管理環境に対して規定された FCC 照射制限に準拠しています。FCC の RF(高周波)への照射準拠必要条件に準拠するためには、アンテナと人体の一部(手、手首、足、足首を含む)は少なくとも 20cm(8 インチ)離れていなければなりません。

本送信機は、いかなるアンテナまたは送信機(本書で承認したものを除く)と共に配置または操作されてはいけません。

一部の特定のチャンネルまたは周波数帯は、国によって使用できない場合があります。特定の場所に適合するように工場ではファームウェアがプログラムされています。エンドユーザーがファームウェアを設定することはできません。

カナダ産業省(IC)適合宣言

本装置はカナダ産業省の規定 RSS-210 に準拠しています。以下の 2 つの条件を前提として動作します。

- 本装置は干渉を引き起こさないようになっています。
- 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含む、いかなる干渉も許容する必要があります。

このクラス B デジタル装置はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ国内では、5600～5650MHz 帯での RLAN 機器の使用は禁止されています。

注意: 同一チャンネルの移動衛星システムに対する有害な干渉の可能性を軽減するため、5150MHz～5120MHz 帯の使用は屋内のみに制限されています。

高出力レーダーは、5250～5350MHz および 5650～5850MHz 帯のプライマリユーザー(優先権を持つユーザー)として割り当てられています。これらのレーダーは、免許不要ローカルエリアネットワーク(LE-LAN)装置に対して干渉や損傷を引き起こす可能性があります。

IC 照射適合宣言

重要な注意: 本装置は、非管理環境に対して規定された IC 照射制限に準拠しています。放射体と人体の間隔を少なくとも 20cm(8 インチ)離して本装置を設置および操作してください。



無線 LAN に関する情報

本装置は、直接拡散方式 (DSSS) および直交波周波数分割多重接続 (OFDMA) を使用する無線ネットワーク製品です。本装置は以下の事項に準拠し、他の無線 DSSS および OFDMA の製品と相互運用性を持つよう設計されています。

- 米国電気電子技術者協会 (Institute of Electrical and Electronics Engineers) によって定義および認可されている無線 LAN (改訂 B、改訂 G、および改訂 N) の IEEE 802.11 標準。
- WECA (無線イーサネット互換性連合) によって定義されている Wi-Fi 認定。



無線機器使用の際の制限

状況および環境によっては、建物の所有者または企業責任者により無線装置の使用が制限されています。たとえば、他の機器またはサービスを妨害する危険性がある、または有害であると認められる場所での無線装置の使用などがこれに該当します。

特定の企業または環境における無線装置の使用に関する適用方針が不明な場合は、装置の電源を入れる前にその装置の使用について管理当局までお問い合わせください。

本製品に含まれる機器の不正改造、あるいは製造元が指定していないケーブルおよび製品に代替品あるいは付属品を接続したことにより発生する無線およびテレビの混信に関し、製造元は一切責任を負いません。そのような不正改造、代替品および付属品によって発生する混信の修正はユーザーの責任により行ってください。

5180～5240MHz、5260～5320MHz 帯の使用は屋内のみに制限されています。

製造元およびその正規代理店または販売店は、ユーザーがこれらのガイドラインに従わなかったために発生したいかなる損壊または政府規制違反にも責任を負いかねます。

セキュリティに関する警告: 本装置を使用すると、無線ネットワークを構成できます。無線ネットワークには、許可されていないユーザーがアクセスできる場合があります。ネットワークを保護する方法の詳細については、本ガイドの無線 LAN の設定に関するセクションを参照するか、モトローラウェブサイトをご覧ください。



1

はじめに

Motorola SURFboard® SBG6580J Wi-Fi ケーブルモデムゲートウェイをご購入いただきありがとうございます。新しいモデムを設置する前に、「**同梱品**」に記載されている品目がすべて揃っていることを確認してください。

1.1 同梱品

品目		解説
電源		AC コンセントから電力を供給
ソフトウェアライセンス／ 規制情報カード		SBG6580J のソフトウェアライセンス、保証、安全性に関する情報を記載
SBG6580J CD-ROM		日本語 SBG6580J ユーザーガイド
SBG6580J かんたん設定ガイド		SBG6580J の基本的な接続方法の説明

1.2 問い合わせ情報

製品に関するテクニカルサポートやその他の情報については、契約インターネットサービスプロバイダのホームページをご覧ください。

お問い合わせの際、モデムのメディアアクセスコントロール(MAC)ラベルに記載されている情報が必要となります。ラベルはモデムの底面にあります。SSID、PASS KEY、S/N、HFC MAC ID、GATEWAY MGMT MAC ID が記載されています。

はじめに ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



1.3 システム要件

SBG6580J は以下のオペレーティングシステムに対応しています。

Windows 7

Windows Vista™ (Service Pack 1 以降)

Windows® XP (Service Pack 2 以降)

Mac® 10.4 以降 (イーサネット接続の場合のみ)

UNIX®

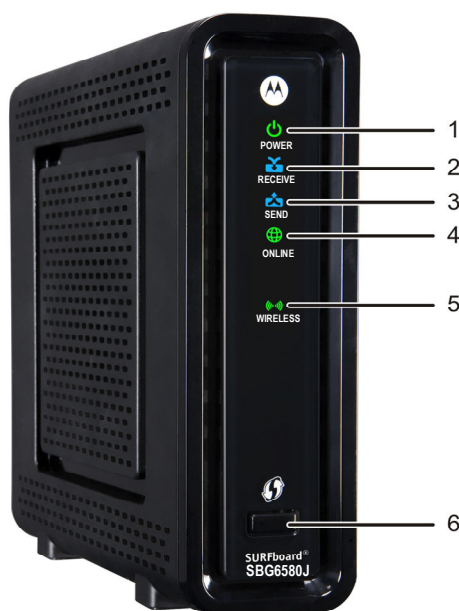
Linux®









2

製品概要

2.1 フロントパネル



アイコン	アイコンの名称・状態	モデムの状態
1  POWER	電源 緑色の点灯表示	・正しく接続され、使用可能な状態です
2  RECEIVE	受信 緑色／*青色の点滅 緑色／*青色の点灯	・ダウンストリーム(受信)チャンネル接続をスキャンしています ・通常(緑色)または高速(青色)チャンネルにロックされています
3  SEND	送信 緑色／*青色の点滅 緑色／*青色の点灯	・アップストリーム(送信)チャンネル接続をスキャンしています ・通常(緑色)または高速(青色)チャンネルにロックされています
4  ONLINE	オンライン 緑色の点滅 緑色の点灯	・接続処理中 ・接続完了(オンライン中)
5  WIRELESS	ワイヤレス 緑色の点滅 オレンジ色の点滅	・アイコンが緑色の場合、正常に接続中 Wi-Fi ネットワークトラフィックを表示 ・WPS 接続中
6  WPS ボタン (LED はありません)		・接続中は、ワイヤレスアイコン(5 を参照)はオレンジ色に点滅します

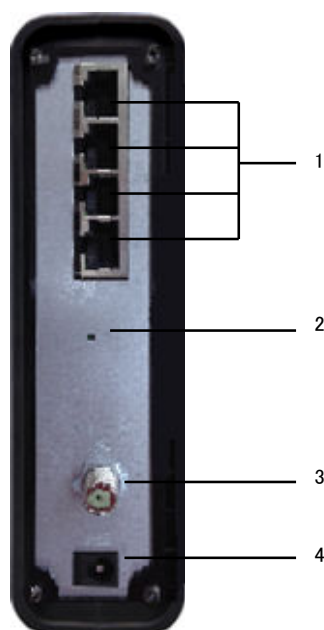
*高速インターネット接続(非ギガビットスピード)でチャンネルボンディングされていることを意味します。
この機能の使用状況については、契約インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。







WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能について

WPS (Wi-Fi Protected Setup) は、無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。プッシュボタン方式、または、PIN 方式によって、SBG6580J と WPS 対応の Wi-Fi デバイスを簡単に、安全に接続することができます。

2.2 リアパネル



ポート	解説
1 	ギガビットイーサネットポート パソコンのイーサネットポートからの、イーサネットケーブルを接続します。 緑 LED の点灯はデータ通信が行われていることを示しています。
2 	デフォルトリセットスイッチ モデムをデフォルト設定 (カスタム設定は消去されます) に戻して、ケーブルモデルを再起動します。電源がオンの状態で、筐体内のプッシュスイッチを細い棒で 5 秒以上押したままにすることで、モデムはデフォルト設定で再起動します。
3 	RF ケーブルコネクタ 同軸ケーブルを接続します。
4 	電源コネクタ AC アダプタで供給される +12VDC 電源プラグを接続します。

製品概要 ■

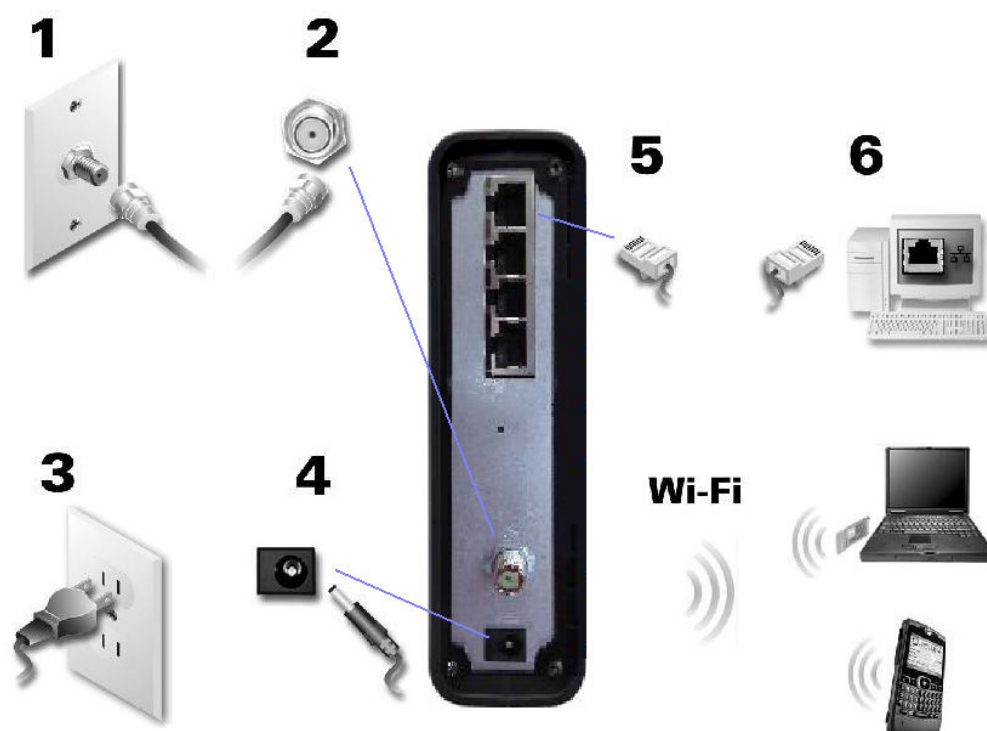
3

モデムの設置

3.1 SBG6580J の接続

SBG6580J は、以下の手順で設置してください。

警告: 本製品は室内で使用してください。イーサネットケーブルを建物の外へ迂回させないでください。ケーブルが雷に当たった場合、安全性を損なう危険が生じ、製品が損傷する可能性があります。



1. 同軸ケーブルが壁にあるケーブル差込口に接続されていることを確認します。
2. 同軸ケーブルのもう一端をモデムの RF ケーブルコネクタに接続します。損傷を防ぐため、コネクタをきつく締めます。
3. 電源コードの AC プラグを壁面の電源コンセントに差し込みます。
4. 電源コードをモデムの電源ポートに差し込みます。
5. インターネット接続のタイプ (イーサネットケーブル または 無線 LAN) を選択します。
6. イーサネットケーブルでモデムとコンピュータを接続、または 無線 LAN 端末機器との接続 (“10. Wi-Fi ネットワークの作成”参照)を行います。
7. 追加のコンピュータまたはその他の機器を接続するには、手順の 5 と 6 を繰り返します。



4

インターネットへの接続

4.1 インターネット接続のテスト

モデムがオンラインになった後、インターネットへの接続が可能な状態になります。以下の手順でインターネットへの接続を確認することができます。

1. ご使用のパソコンのブラウザウィンドウを開きます。
2. 閲覧するホームページのアドレスを入力します。

指定したサイトが開いた場合は、インターネットに接続されています。インターネットにアクセスできない場合は、モデム、またはパソコンを設定する必要があると考えられます。以下の手順を参照してください。

4.2 パソコンの LAN 設定

4.2.1 有線 LAN で接続する場合

主要なオペレーションシステム(OS)を使用した有線接続の場合の、TCP/IP 設定の方法を説明しています。ご使用の OS により、操作が異なります。

4.2.1.1 Windows XP での TCP/IP の設定

1. [スタート] をクリックして [設定] を選択します。
2. [コントロール パネル] をクリックします。
3. [ネットワーク接続] をダブルクリックし、ダイヤルアップおよび LAN 接続または高速インターネット接続のリストを表示します。
4. 使用するネットワークインターフェース(＊＊)のネットワーク接続を右クリックします。
5. プルダウンメニューから [プロパティ] を選択し、[ローカルエリア接続のプロパティ] ウィンドウを表示します。[インターネットプロトコル (TCP/IP)] がオンになっていることを確認します。
6. [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックして [インターネットプロトコル (TCP/IP) プロパティ] ウィンドウを表示します。
7. [IP アドレスを自動的に取得する] および [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択します。
8. [OK] をクリックして TCP/IP 設定を保存し、[TCP/IP プロパティ] ウィンドウを閉じます。[ローカルエリア接続のプロパティ] ウィンドウを閉じてコントロールパネルを閉じます。
9. 新しいブラウザウィンドウを開いて確認の為にホームページアドレスを入力します。指定のウェブサイトへ接続できた場合は、次の手順はスキップしてください。
10. インターネットにアクセスできない場合は、IP アドレスを更新します。(“4.3 Windows XP または Vista、7 での IP アドレスの更新”を参照してください。)



4.2.1.2 Windows Vista での TCP/IP の設定

1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [ネットワークとインターネット] をダブルクリックして、[ネットワークとインターネット] ウィンドウを表示します。
3. [ネットワークと共有センター] をダブルクリックして、[ネットワークと共有センター] ウィンドウを表示します。
4. [ネットワーク接続の管理] をクリックして、ネットワークインターフェースのネットワーク接続を右クリックします。
5. [プロパティ] を選択して、[ローカルエリア接続のプロパティ] ウィンドウを表示します。
「ユーザーアカウント制御 – 続行するにはユーザーの許可が必要です」というプロンプトが表示されたら、[続行] をクリックします。
6. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] または [インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IP v6)] を選択し、[プロパティ] をクリックして、
[インターネットプロトコルのプロパティ] ウィンドウを表示します。
7. [IP アドレスを自動的に取得する] および [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択します。[OK] をクリックして設定を保存し、もう一度 [OK] をクリックして [ローカルエリア接続のプロパティ] ウィンドウを閉じます。
8. 新しいブラウザウィンドウを開いて確認の為にホームページアドレスを入力します。指定のウェブサイトに接続できた場合は、次の手順はスキップしてください。
9. インターネットにアクセスできない場合は、IP アドレスを更新します。（“4.3 Windows XP または Vista、7 での IP アドレスの更新”を参照してください。）

4.2.1.3 Windows 7 での TCP/IP の設定

1. [スタート]、[コントロールパネル]、[ネットワークとインターネット] の順にクリックします。
2. [ネットワークと共有センター] をクリックして、[ネットワークと共有センター] ウィンドウを表示します。
3. [アダプターの設定の変更] をクリックして、[LAN 接続または高速インターネット接続] ウィンドウを表示します。使用するネットワークインターフェース(**)のネットワーク接続を右クリックします。
4. [プロパティ] を選択して、[ローカルエリア接続のプロパティ] ウィンドウを表示します。
5. [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IP v4)] または [インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IP v6)] を選択し、[プロパティ] をクリックして、
[インターネットプロトコルのプロパティ] ウィンドウを表示します。
6. [IP アドレスを自動的に取得する] および [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択します。[OK] をクリックします。[閉じる] をクリックして、[ローカルエリア接続のプロパティ] およびその他のウィンドウを閉じます。
7. 新しいブラウザウィンドウを開いて確認の為にホームページアドレスを入力します。指定のウェブサイトに接続できた場合は、次の手順はスキップしてください。
8. インターネットにアクセスできない場合は、IP アドレスを確認または更新します。（“4.3 Windows XP または Vista、7 での IP アドレスの更新”を参照してください。）

インターネットへの接続 ■



4.2.1.4 Macintosh での TCP/IP の設定

1. [アップルメニュー]から[システム環境設定]を選択します。
2. [システム環境設定]で、[ネットワーク]を選択します。
3. [ネットワークウィンドウ]の「設定」からLANアダプタ(内蔵 LAN の場合は、「内蔵 Ethernet」)を選択します。
4. [TCP/IP タブ] を選択し、[DHCP サーバーを参照]を選択します。
5. プロキシを選択し、何も設定されていないことを確認します。
6. 設定後、[保存]をクリックし、設定を保存します。
7. 新しいブラウザウィンドウを開いて確認の為にホームページアドレスを入力し、インターネット接続を確認します。

4.2.2 無線 LAN(Wi-Fi)で接続する場合

主要なオペレーションシステム(OS)を使用する場合の、無線 LAN(Wi-Fi) 接続時の TCP/IP 設定の方法の説明は、別紙 “SURFboard SBG6580J ワイヤレスケーブルモデム Gateway ～簡単設定ガイド Ver. 2.0～” を参照ください。

4.3 Windows XP または Windows Vista、7 での IP アドレスの更新

1. [スタート] ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 「cmd」と入力し、[OK] をクリックしてコマンドプロンプトウィンドウを開きます。
3. 「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押します。インターネットアクセスが可能な場合、有効な IP アドレス(例えば 192.168.0 .2)が返されます。
4. 「exit」と入力し、Enter キーを押してコマンドプロンプトウィンドウを閉じます。
5. 新しいブラウザウィンドウを開いて確認の為にホームページアドレスを入力し、接続状態をテストします。

インターネットに接続できない場合は、コンピュータとモデムを再起動します。再起動しても問題が解決されない場合は、契約インターネットサービスプロバイダへお問い合わせください。



5

グラフィカルユーザーインターフェイス

5.1 基本設定画面表示

SBG6580J は状態管理や各種設定を行うために、GUI(グラフィカル ユーザー インターフェイス)を使用した設定画面を備えています。ご使用のパソコンのブラウザを使用し、この画面を操作することができます。

ユーザー設定画面への接続

1. ブラウザウィンドウを開きます。
2. モデムの IP アドレスを「**192.168.100.1**」と入力します。
3. デフォルトのユーザー名を「**admin**」と入力します。
4. デフォルトのパスワードを「**motorola**」と入力します。

ログイン

ログイン
ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

©2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.



5.2 設定画面構成

設定画面 (GUI: グラフィカル ユーザー インターフェイス) は、ここで説明するメニュー構成になっています。

ログインが正しく行われた場合、以下のページを最初に表示します。



画面構成は、図のように分類されます。これは、表示されるメニュー画面が変わっても同じ構成となります。

- ① 画面上部 1 列に表示されている項目 「メニューバー」
- ② 画面左に縦に並んでいるボタン 「メニューボタン」
- ③ 画面上部の説明 「メニュー概要」
- ④ メイン画面 「情報部」
- ⑤ ヘルプ画面ポップアップ 「ヘルプ」



6

ステータス メニュー

[ステータス] メニューバーでは、モデムの接続状態、システム概要やモデムのソフトウェアバージョン、パスワードの変更に加えて、基本的な診断テストの実行や、モデムの再起動を実施することができます。使用可能なメニューボタンは、以下の通りです。

6.1 ソフトウェアに関する情報の確認

[ソフトウェア] を選択すると、ソフトウェアバージョン情報の他、ご使用中のモデムのシステム情報を表示します。

ステータス 基本 詳細 ファイアウォール ワイヤレス ログアウト


MOTOROLA

ソフトウェア

接続

セキュリティ

診断

構成

ステータス

ソフトウェア [ヘルプ](#)
このページは、現在のシステム ソフトウェア情報を表示します。

情報	
標準規格	DOCSIS 3.0
ハードウェアバージョン	2
ソフトウェアバージョン	SBG6580J-6.5.2.1-GA-04-066-NOSH
ケーブル モデム MAC アドレス	e8:6d:52:7e:35:37
ケーブル モデムシリアル番号	358681228423822403020005
CM 証明書	インストールされています

ステータス	
システム 稼働時間	0 days 00h:01m:53s
ネットワーク アクセス	許可

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.



6.2 接続状態の確認

[接続] を選択すると、モデムの接続状態を表示します。

6.3 セキュリティに関する設定

[セキュリティ] を選択すると、操作画面アクセスのユーザー名、パスワードの変更を行うことができます。また、全ての設定状態をリセットし、工場出荷状態への復元を行うことができます。これは、モデムの設定中に不都合が起こった場合、設定をリセットし初期状態から設定をやり直す場合に有効です。

6.3.1 デフォルトパスワードの変更

注意: デフォルトのパスワードは、工場出荷の段階で同一に設定されています。情報およびネットワークを不正なアクセスから保護するために、インターネットへの接続前に、モデムのデフォルトのパスワードを変更してください。

パスワードを変更する際は、イーサネット接続を使用してください。無線ネットワーク接続を利用してパスワードを変更することは絶対に行わないでください。

1. メニューバーより[ステータス] を選択し、メニューボタンより[セキュリティ] を選択します。
2. [パスワードの変更] を選択します。
3. 現在のユーザー名を [ユーザー名の入力] フィールドに入力します。
4. 現在のパスワードを [現在のパスワードの入力] フィールドに入力します。
5. 新しいパスワードを [新しいパスワードの入力] フィールドに入力します。

ステータス メニュー ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



ステータス 基本 詳細 ファイアウォール ワイヤレス ログアウト

MOTOROLA

ソフトウェア
接続
セキュリティ
診断
構成

ステータス

セキュリティ [ヘルプ](#)
このページでは、ユーザー名とパスワードの変更や、工場出荷時設定の復元を行います。

パスワードの変更 ▼

ユーザー パスワードの変更

ユーザー名の入力	admin
現在のパスワードの入力	●●●●●●●●
新しいパスワードの入力	
新しいパスワードの再入力	

適用

デフォルト設定(工場出荷状態)へ復元

☐ はい ☒ いいえ

適用

©2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.

- 新しいパスワードを[新しいパスワードの再入力] フィールドに再び入力します。
- 適用** をクリックします。
- 新しいパスワードとデフォルトのパスワードを記録します。

6.3.2 デフォルト設定の復元

モデムの設置中に不具合が生じ元の状態に設定しなおす等の場合には、デフォルト設定の復元を行います。モデムが正常に動作している場合の設定の **バックアップコピーを作成** することをお勧めします。

- メニューバーより[ステータス] を選択し、メニューボタンより[セキュリティ]を選択します。
- [デフォルト設定(工場出荷状態)へ復元] で [はい] を選択します。

デフォルト設定(工場出荷状態)へ復元

☒ はい ☐ いいえ

適用

ステータス メニュー ▾

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



3. **適用** をクリックして、すべての項目をデフォルト設定へリセットします。

注意: **適用** をクリックしてもモデムは自動的にリブートしません。デフォルト設定を完了するために、**SBG6580J** の再起動が必要です。**6.5 モデムの再起動** を参照ください。

4. デフォルト設定のユーザーID/パスワード(**admin/motorola**)を使用して再びログインします。

6.4 接続診断ツール

[診断] を選択すると、ネットワーク診断ツールを使用することができます。

The screenshot shows the Motorola SURFboard web interface. The top navigation bar includes links for **ステータス** (Status), **基本** (Basic), **詳細** (Advanced), **ファイアウォール** (Firewall), **ワイヤレス** (Wireless), and **ログアウト** (Logout). The left sidebar contains a menu with **ソフトウェア** (Software), **接続** (Connection), **セキュリティ** (Security), **診断** (Diagnosis), and **構成** (Configuration). The main content area is titled **ステータス** (Status) and includes a **診断** (Diagnosis) section with a **ヘルプ** (Help) link. Below this, there is a **ユーティリティ選択** (Utility Selection) dropdown menu set to **LAN への Ping** (Ping to LAN). The **Ping テスト パラメーター** (Ping Test Parameters) section includes fields for **ターゲット** (Target) IP address (192.168.0.1), **Ping サイズ** (Ping Size) (64 bytes), **Ping 数** (Ping Count) (3), and **Ping 送信間隔** (Ping Send Interval) (1000 ms). There are buttons for **テスト開始** (Start Test), **テスト中止** (Stop Test), and **結果の消去** (Clear Results). The **結果** (Results) section shows **入力待ち** (Waiting for input).

- 1) Ping (LAN 側): LAN 側機器に対して Ping を発行し、接続の確認を行います。
 1. 「ユーティリティ選択」プルダウンメニューより“LAN への Ping”を選択。

This close-up shows the **ユーティリティ選択** (Utility Selection) dropdown menu. The selected option is **LAN への Ping** (Ping to LAN).

2. 「ターゲット」の IP アドレスの 4 桁目(設定可能なフィールド)を設定。
3. 「Ping サイズ」を設定。

ステータス メニュー ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



4. 「Ping 数」を設定。
5. 「Ping 送信間隔」を設定。

Ping テスト パラメーター			
ターゲット	192	.168	.41 .1
Ping サイズ	64	bytes	
Ping 数	3		
Ping 送信間隔	1000	ms	

6. “テスト開始”をクリックすると、設定に従って Ping 試験を実施し、結果を表示します。
7. 「Ping 数」で設定した回数に満たない回数で中止する場合は、“テスト中止”をクリック。それまでの試験結果が表示されます。
8. 結果を消去する為には、“結果の消去”をクリックします。

テスト開始	テスト中止	結果の消去
-------	-------	-------

- 2) Ping (WAN 側) : WAN 側機器に対して Ping を発行し、接続の確認を行います。
 1. 「ユーティリティ選択」プルダウンメニューより“WAN への Ping”を選択。

ユーティリティ選択
WAN への Ping ▼

2. 「ターゲット」の IP アドレスを設定。
3. 「Ping サイズ」を設定。
4. 「Ping 数」を設定。
5. 「Ping 送信間隔」を設定。

Ping テスト パラメーター			
ターゲット	192	.168	.41 .1
Ping サイズ	64	bytes	
Ping 数	3		
Ping 送信間隔	1000	ms	

6. “テスト開始”をクリックすると、設定に従って Ping 試験を実施し、結果を表示します。
7. 「Ping 数」で設定した回数に満たない回数で中止する場合は、“テスト中止”をクリック。それまでの試験結果が表示されます。
8. 結果を消去する為には、“結果の消去”をクリックします。

テスト開始	テスト中止	結果の消去
-------	-------	-------

- 3) トレースルート: 特定の機器に到達するまでのルート情報を試験し表示します。

ステータス メニュー ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



1. 「ユーティリティ選択」プルダウンメニューより「トレースルート」を選択。

ユーティリティ選択	
トレースルート	▼

2. 「ターゲット」の IP アドレスを設定。
3. 「最大ホップ数」を設定。
4. 「データサイズ」を設定。
5. 「ベースポート」を設定。
6. 「ホスト解決」を設定。

トレースルートパラメーター	
ターゲット	<input type="text"/> IP アドレスまたは名前
最大ホップ数	<input type="text" value="255"/>
データサイズ	<input type="text" value="32"/> bytes
ベースポート	<input type="text" value="33434"/>
ホスト解決	<input type="text" value="オフ"/>

7. “テスト開始” をクリックすると、設定に従ってトレースルート試験を実施し、結果を表示します。
8. 結果を消去する為には、“結果の消去”をクリックします。

テスト開始	結果の消去
-------	-------

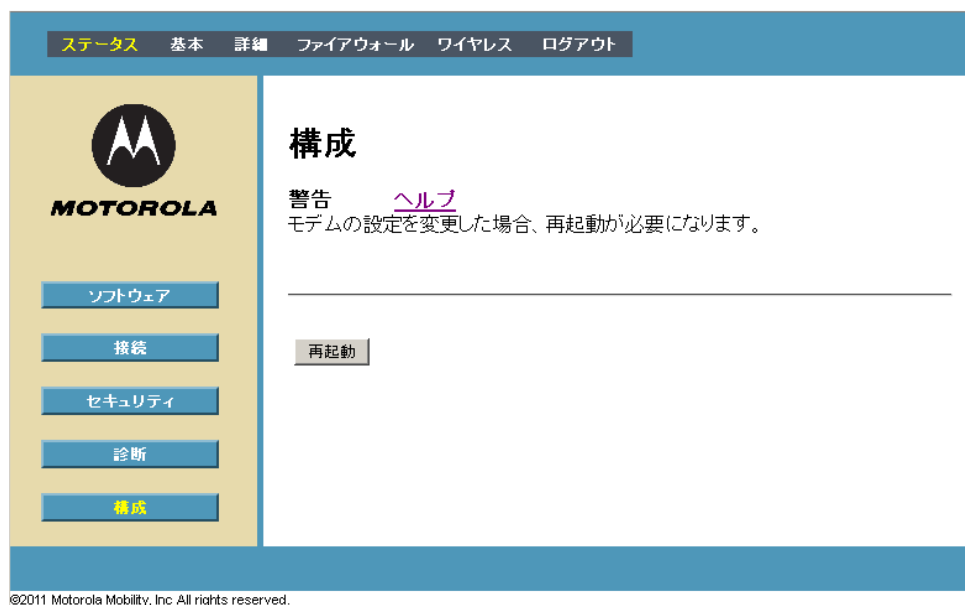


6.5 モデムの再起動

[構成] を選択することでモデムの再起動を行うことができます。設定した内容によって、モデムの再起動が必要な場合があります。自動でモデムの再起動が行われない場合、このメニューから再起動を実施してください。

注意: “再起動”をクリックするとモデムは直ちに一旦リブートし、再起動を行います。保存していない設定内容が失われる場合があります。

1. メニューバーより[ステータス] を選択し、メニューボタンより[構成]を選択します。
2. **再起動** をクリックします。モデムは、直ちに再起動を行います。同時に設定画面も切断されます。設定を継続する場合、ブラウザより再接続を行ってください。





7

基本設定

[基本] メニューバーでは、モデムの基本的な設定を行います。モデムの動作モード、インターフェイスの設定、DHCP サーバー設定と動作状態の確認、また、モデム設定情報の保存や、保存された設定情報への復元を行うことができます。

7.1 セットアップ

[セットアップ]では、モデムの基本的な動作設定を行います。

ステータス **基本** 詳細 ファイアウォール ワイヤレス ログアウト

MOTOROLA

セットアップ DHCP バックアップ

基本

セットアップ [ヘルプ](#)

このページでは、SBG6580Jをサービスプロバイダに接続するための基本機能の設定を行います。

プライマリモード

ルーターモード

この変更を有効にするためには、再起動が必要です。

ネットワーク構成

LAN IP アドレス	192 . 168 . 50 . 1
WAN IP アドレス	20.4.0.2
ゲートウェイ	20.4.0.1
リース期間	D: 00 H: 02 M: 00 S: 00
リース有効期限	Wed Apr 10 17:00:51 2013
IPv4 DNS サーバー	192.168.0.1

WAN 接続種別

この変更を有効にするためには、再起動が必要です。

©2013 Motorola Mobility, LLC. All rights reserved.

「プライマリモード」(モデムの動作モード)の設定を行います。

「ルーターモード」= “有効”/“無効”の選択。デフォルトは、“有効”(ルーターモード)となります。

注意:この設定を変更した場合モデムの再起動が必要です。モードの変更後、 をクリックすると、モデムは自動的に再起動します。



プライマリモード	
ルーターモード	有効▼
この変更を有効にするためには、再起動が必要です。	
<input type="button" value="適用"/>	

「ネットワーク構成」/「LAN IP アドレス」＝“モデム LAN IP アドレス”を設定します。
デフォルトは、“192.168.0.1”が割り当てられています。

ネットワーク構成	
LAN IP アドレス	192 . 168 . 50 . 1
WAN IP アドレス	20.4.0.2
ゲートウェイ	20.4.0.1
リース期間	D: 00 H: 02 M: 00 S: 00
リース有効期限	Wed Apr 10 17:00:51 2013
IPv4 DNS サーバー	192.168.0.1

画面下部にある、 をクリックしてください。

注意:これを変更した場合モデムの再起動が必要です。変更後、 をクリックすると、**モデムは自動的に再起動します。**

「WAN 接続種別」＝“DHCP”(固定)、WAN 側の接続環境を設定します。
WAN 接続種別は“DHCP”固定となり、変更できません。

WAN 接続種別	
WAN 接続種別	DHCP▼
この変更を有効にするためには、再起動が必要です。	
<input type="button" value="適用"/>	



7.2 DHCP

[DHCP] では、動的ホスト構成管理プロトコル (DHCP) サーバーは、設定範囲内でローカルコンピュータに IP アドレスを自動的に割り当てます。

基本

DHCP [ヘルプ](#)
このページでは、LAN用オプションの内部 DHCP サーバーの設定と状態確認ができます。

DHCP

DHCP サーバー ☒ 有効 ☐ 無効

開始 IP アドレス 192.168.30.2

接続台数 253

リース期間 3600

DHCP クライアント

IP アドレスの予約

MAC アドレス (e.g. 11:22:33:aa:bb:cc)	IP アドレス	デバイス名
	192.168.30.	

MAC アドレス	IP アドレス	サブネット マスク	リース期間	リース有効期限	デバイス名	選択
3c:97:0e:70:46:8f	192.168.030.002	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	---	W21931-05	<input type="checkbox"/>
c8:aa:21:09:03:61	192.168.030.003	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	---	android_fef58444da	<input type="checkbox"/>

現在のシステム時刻:---

「DHCP サーバー」＝“有効”/“無効”の選択。

LAN 側機器に対して、自動的に IP アドレスを割り当てる DHCP サーバー機能の使用を選択します。通常「DHCP サーバー」＝“有効”で使用します。

「開始 IP アドレス」＝“IP アドレス”を入力。

LAN 側機器に DHCP サーバーが割り当てる最初の IP アドレスを設定します。[7.1 セットアップ] で設定した、LAN IP アドレスより、最下位の一桁(8 ビット)をここで設定します。サブネットマスクは、“255.255.255.0”となっています。

デフォルトは、“2”です。

「接続台数」＝“使用可能な IP アドレス数”を入力。

LAN 側機器に DHCP サーバーが割り当てる最初の IP アドレスを設定します。「開始 IP アドレス」で設定したアドレスから連続した数の IP アドレスを確保します。

デフォルトは、“253”です。

基本設定 ■



「リース期間」＝“割り当てられた IP アドレスの有効期間(秒)”を入力。
LAN 側機器に割り当てられた IP アドレスの有効期間を設定します。
デフォルトは、“3600 秒”です。

DHCP	
DHCP サーバー	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
開始IPアドレス	192.168.30.2
接続台数	253
リース期間	3600

「DHCP クライアント」、「IP アドレスの予約」では、特定の機器に対し事前に IP アドレスを予約する場合の設定を行います。

「MAC アドレス」＝“機器の MAC アドレス”を指定します。

「IP アドレス」＝“予約する IP アドレス”を指定します。この範囲は、[DHCP] の項目で指定した LAN アドレス内にする必要があります。

「ホスト名」＝“任意のホスト名”を指定します。

上記の情報を入力後、 をクリックし登録を行います。

DHCP クライアント		
IP アドレスの予約		
MAC アドレス (e.g.11:22:33:aa:bb:cc)	IP アドレス	デバイス名
<input type="text"/>	192.168.30. <input type="text"/>	<input type="text"/>

「CPE IP 情報」DHCP サーバーにより割り当てられている、IP アドレスと関連する情報は、以下に表示されます。

ここには、イーサネット/無線 LAN のどちらの接続形態であっても表示されます。

表示を削除する場合は、対応するリストの「選択」をチェックし、 をクリックします。

MAC アドレス	IP アドレス	サブネット マスク	リース期間	リース有効期限	デバイス名	選択
3c:97:0e:70:46:8f	192.168.030.002	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	--- -- -- -- --	W21931-05	<input type="checkbox"/>
c8:aa:21:09:03:61	192.168.030.003	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	--- -- -- -- --	android_fef58444da	<input type="checkbox"/>

「現在のシステム時刻」モデムが認識している時刻を表示しています。正確な時刻を示しているものではありません。

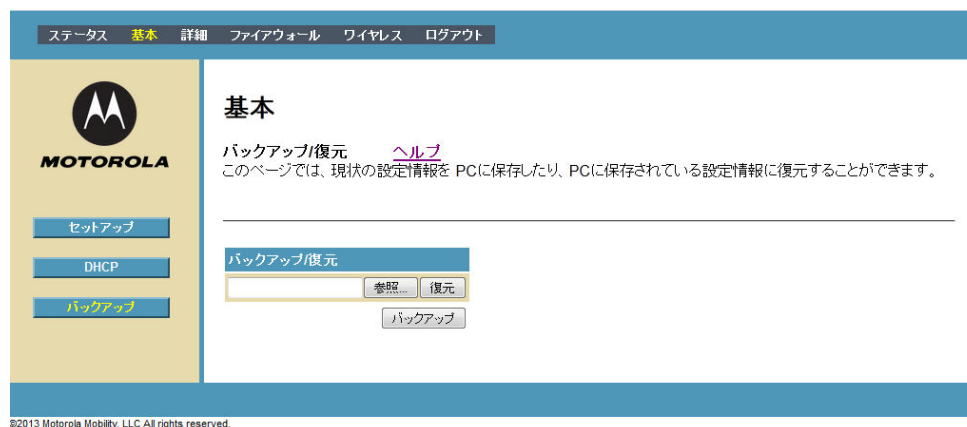
現在のシステム時刻: Wed Sep 26 11:33:43 2012



7.3 バックアップ

設定情報のバックアップの作成

モデムの設定が終了したら、設定のコピーを作成してファイルを安全な場所に保存します。バックアップコピーはモデムを工場出荷時の状態にリセットした際に、カスタム設定の復元に使用します。



1. [基本] メニューから [バックアップ] を選択します。
2. **バックアップ** をクリックします。
3. 以下のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。



4. “保存” をクリックします。
5. コンピュータの安全な場所 (または外付けストレージ装置) にバックアップファイルを保存します。
6. “保存” をクリックします。

バックアップを使用したモデム設定の復元

1. [基本] メニューから [バックアップ] を選択します。
2. コンピュータ内から過去に保存したバックアップファイルを選択します。
3. **参照...** をクリックし、バックアップファイル名を指定します。
4. **復元** をクリックし、続いて [OK] をクリックしてモデムを再起動します。



8

詳細設定

SBG6580J のブロードバンドゲートウェイとしての詳細な機能の設定を行います。
メニューバーより、「詳細」を選択し設定画面に移動します。

8.1 オプション

「オプション」では、モデムの付加機能についての設定を行います。設定変更した後に「適用」をクリックし、設定内容を有効にします。

[WAN ブロック] = “有効”/“無効”

詳細設定 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



WAN 側からの WAN インターフェイスへの PING の応答を行わないようにします。

デフォルトは、“有効”。

[IPSec パススルー] = “有効”/“無効”

IPSec を使用する VPN 機器が正しく通信得るように IPSec パケットをパススルーします。

デフォルトは、“有効”。

[PPTP パススルー] = “有効”/“無効”

PPTP (Point to Point トンネリングプロトコル) を使用する VPN 機器が正しく通信得るように IPSec パケットをパススルーします。

デフォルトは、“有効”。

[リモート構成情報管理] = “有効”/“無効”

WAN 側からの GUI アクセスを制限します。モデムの WAN IP アドレスを使用して、リモートからモデムの設定を行うことができます。その際、以下のようにリモート機器より接続を行います。

<http://xxx.xxx.xxx.xxx:8080/> (xxx.xxx.xxx.xxx : モデム WAN IP アドレス)

デフォルトは、“無効” (アクセス不可)。

[マルチキャスト有効] = “有効”/“無効”

マルチキャストパケットの転送を許容します。

デフォルトは、“有効”。

[UPnP 有効] = “有効”/“無効”

SBG6580J の UPnP エージェントを有効にします。UPnP が必要な CPE のアプリケーションを実行している場合はこれを有効にします。

デフォルトは、“無効”。

WANブロック	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPsec パススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
PPTP パススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
リモート構成情報管理	<input type="checkbox"/> 有効
マルチキャスト有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
UPnP 有効	<input type="checkbox"/> 有効

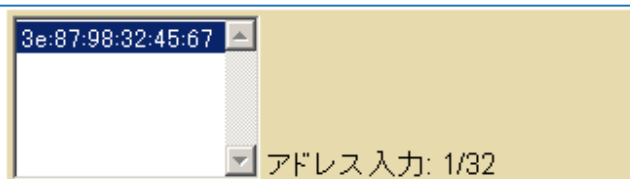
「パススルーMac アドレス」

LAN 内の CPE の特定の MAC アドレスを指定して、各種フィルターをパススルーさせる端末として指定することができます。

Be:87:98:32:45:67	MAC アドレス追加
-------------------	------------

機器の MAC アドレスを上記のフィールドに入力し、**MAC アドレス追加** をクリックします。

MAC アドレスが登録され、以下のテーブルに登録されます。



パススルーさせる CPE の MAC アドレスを最大 32 まで登録することができます。一旦登録した IP アドレスの選択削除を行う場合、リスト中の MAC アドレスを選択し、**MAC アドレス削除** をクリックします。また、**すべてクリア** をクリックすることで、全部削除を行うことができます。

8.2 IP フィルタリング

LAN 内の特定の IP アドレスを持つ機器の通信を制限する為のフィルターを設定することができます。



ステータス 基本 **設定** ファイアウォール ワイヤレス ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポートフィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

IP フィルタリング [ヘルプ](#)

このページでは、LAN 上の特定のネットワーク デバイスへのインターネット トラフィックをブロックする、IP フィルタリングを設定します。

IP フィルタリング		
開始アドレス	終了アドレス	有効
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>

適用

©2013 Motorola Mobility, LLC. All rights reserved.

通信の制限をしたい IP アドレスを単体、または範囲で設定することができます。

「開始アドレス」に最初の IP アドレスを設定し、「終了アドレス」に範囲の最後の IP アドレスを設定します。「有効」のチェックボックスがチェックされるとその設定は有効になります。

適用 をクリックする事で、設定を適用します。



IP フィルタリング		
開始アドレス	終了アドレス	有効
192.168.0.5	192.168.0.7	<input checked="" type="checkbox"/>
192.168.0.6	192.168.0.9	<input type="checkbox"/>

テーブル上に、IP アドレスが設定されていても、「有効」のチェックボックスがチェックされていないと設定は反映されません。

8.3 MAC フィルタリング

モデムが通信を禁止する機器の MAC アドレスを登録することができます。

©2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.

通信を禁止したい機器の MAC ドレスを、追加します。

23:45:67:89:01:ab	MAC アドレス 追加
-------------------	-------------

機器の MAC アドレスを上記のフィールドに入力し、**MAC アドレス追加** をクリックします。

MAC アドレスが登録され、以下のテーブルに登録されます。

12:34:56:78:90:ab	アドレス入力: 1/20
<div>MAC アドレス 削除</div> <div>全て消去</div>	

詳細設定 ▾

Motorola SURFboard ▾ ユーザーガイド



通信を禁止したい機器の MAC ドレスを最大 20 まで登録することができます。一旦登録した IP アドレスの選択削除を行う場合、リスト中の MAC アドレスを選択し、**MAC アドレス削除** をクリックします。また、**全て消去** をクリックすることで、全ての登録を削除することができます。

8.4 ポートフィルタリング

特定のインターネット サービスの転送を禁止する、ポートフィルタリングの設定を行うことができます。

ステータス 基本 **詳細** ファイアウォール ワイヤレス ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポートフィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポート フィルタリング [ヘルプ](#)
このページでは、特定のインターネット サービスの転送を禁止する、ポートフィルタリングの設定を行います。

ポート フィルタリング			
開始 ポート	終了 ポート	プロトコル	有効
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>

適用

©2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.

通信の制限をしたい通信ポート番号を単体、または範囲で設定することができます。

「開始ポート」に最初のポート番号を設定し、「終了ポート」に範囲の最後のポート番号を設定します。「プロトコル」には、「UDP」/「TCP」/「両方」を選択します。「有効」のチェックボックスがチェックされるとその設定は有効になります。

適用 をクリックする事で、設定を適用します。

テーブル上に、IP アドレスが設定されていても、「有効」のチェックボックスがチェックされていないと設定は反映されません。



8.5 ポートフォワーディング

Web サーバー、FTP サーバー、メールサーバー等へ公衆インターネットから特定のホストへアクセスできるように、ポート番号で着信要求を許可する設定を行います。

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポート フィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポートフォワーディング [ヘルプ](#)
このページでは、Webサーバー、FTPサーバー、メールサーバー等へ、公衆インターネットから特定のホストへアクセスできるように、ポート番号で着信要求を許可する設定を行います。
一般的に使用されるポート番号のテーブルも用意されています。

作成

IPv4

ローカル			外部			プロトコル	説明	有効	全て削除
IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート	IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート				

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
TFTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telnet	23
IRC	184
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
radius	107
LDAP	389
UUCP	540

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

設定値を入力するために、[作成 IPv4](#) をクリックします。
以下の画面が表示され、入力することができます。

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポート フィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポートフォワーディング [ヘルプ](#)
このページでは、Webサーバー、FTPサーバー、メールサーバー等へ、公衆インターネットから特定のホストへアクセスできるように、ポート番号で着信要求を許可する設定を行います。
一般的に使用されるポート番号のテーブルも用意されています。

ローカル IP

0.0.0.0

ローカル開始ポート

0

ローカル終了ポート

0

外部 IP

0.0.0.0

外部開始ポート

0

外部終了ポート

0

プロトコル

TCP

説明

有効

オフ

キャンセル

適用

ローカル			外部			プロトコル	説明	有効	全て削除
IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート	IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート				

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
TFTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telnet	23
IRC	184
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
radius	107
LDAP	389
UUCP	540

詳細設定 ▾

Motorola SURFboard ▾ ユーザーガイド



転送先 (LAN 内の機器の IP アドレス) と、外部からの IP アドレス、ポートアプリケーションポート番号、プロトコルを指定します。

「ローカル IP アドレス」には、転送先の IP アドレスを設定します。「開始ポート」には、最初のポート番号、「終了ポート」には、最後のポート番号を設定します。外部 IP には、インターネットからのアドレス、「外部開始ポート」、「外部終了ポート」にはポート番号、「プロトコル」には、「UDP」/「TCP」/「両方」を選択します。「有効」のチェックボックスがチェックされるとその設定は有効になり、**適用** のクリックで、以下のテーブルに設定内容が表示されます。

ローカル IP	0.0.0.0
ローカル開始ポート	0
ローカル終了ポート	0
外部 IP	0.0.0.0
外部開始ポート	0
外部終了ポート	0
プロトコル	TCP
説明	
有効	オフ
キャンセル 適用	

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポート フィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポートフォワーディング [ヘルプ](#)
このページでは、Webサーバ、FTPサーバ、メールサーバ等へ、公衆インターネットから特定のホストへアクセスできるように、ポート番号で着信要求を許可する設定を行います。
一般的に使用されるポート番号のテーブルも用意されています。

作成
IPv4

ローカル			外部			プロトコル	説明	有効	操作
IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート	IP アドレス	開始 ポート	終了 ポート				
192.168.0.50	100	300	0.0.0.0	100	300	TCP	Sample	はい	編集 削除

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
FTTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telexnet	23
IRC	184
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
rdnsnet	107
LDAP	389
UUCP	540

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

項目を編集する場合には、**編集** を、削除する場合には **削除** をクリックします。
全て削除 は、登録した項目をすべて削除します。

詳細設定 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



8.6 ポートトリガー

動的トリガーを、LAN 上の特定のデバイスに適用する構成を行います。これは特定のポート番号を持つ双方向のトラフィックを必要とする特殊なアプリケーションが正しく機能するために使用します。ビデオ会議、音声、ゲーム、およびメッセージ サービスなどのアプリケーションは、これらの特別な設定を行う必要がある場合があります。

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポート フィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポートトリガー [ヘルプ](#)

このページは、動的トリガーを、LAN上の特定のデバイスに適用する構成を行います。これは特定のポート番号を持つ双方向のトラフィックを必要とする特殊なアプリケーションが正しく機能するために使用します。ビデオ会議、音声、ゲーム、およびメッセージ サービスなどのアプリケーションは、これらの特別な設定を行う必要があります。

作成

トリガー		ターゲット		プロトコル	説明	有効	全て削除
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート				

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

設定値を入力するために、[作成](#) をクリックします。以下の画面が表示され、入力することができます。

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

オプション

IP フィルタリング

MAC フィルタリング

ポート フィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZ ホスト

詳細

ポートトリガー [ヘルプ](#)

このページは、動的トリガーを、LAN上の特定のデバイスに適用する構成を行います。これは特定のポート番号を持つ双方向のトラフィックを必要とする特殊なアプリケーションが正しく機能するために使用します。ビデオ会議、音声、ゲーム、およびメッセージ サービスなどのアプリケーションは、これらの特別な設定を行う必要があります。

トリガー開始ポート 0

トリガー終了ポート 0

ターゲット開始ポート 0

ターゲット終了ポート 0

プロトコル 両方

説明

有効 オフ

キャンセル 適用

トリガー		ターゲット		プロトコル	説明	有効	全て削除
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート				

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

詳細設定 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド

30



「トリガー開始ポート」、「トリガー終了ポート」には、トリガーとなるポート番号の範囲を設定します。「ターゲット開始ポート」、「ターゲット終了ポート」には、対象となるポート番号の範囲を設定します。

「プロトコル」では、「UDP」/「TCP」/「両方」を選択します。

トリガー開始ポート	<input type="text" value="0"/>
トリガー終了ポート	<input type="text" value="0"/>
ターゲット開始ポート	<input type="text" value="0"/>
ターゲット終了ポート	<input type="text" value="0"/>
プロトコル	<input type="text" value="両方"/>
説明	<input type="text"/>
有効	<input type="text" value="オフ"/>
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用"/>	

「有効」を「オン」に設定すると有効になります。

をクリックする事で、設定を登録しテーブルに表示します。

ステータス 基本 **詳細** ファイアウォール ワイヤレス ログアウト

MOTOROLA

オプション

IPフィルタリング

MACフィルタリング

ポートフィルタリング

ポートフォワーディング

ポートトリガー

DMZホスト

詳細

ポートトリガー [ヘルプ](#)

このページは、動的トリガーを、LAN上の特定のデバイスに適用する構成を行います。これは特定のポート番号を持つ双方向のトラフィックを必要とする特殊なアプリケーションが正しく機能するために使用します。ビデオ会議、音声、ゲーム、およびメッセージ サービスなどのアプリケーションは、これらの特別な設定を行う必要があります。

作成

トリガー		ターゲット		プロトコル	説明	有効	
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート				
100	200	100	200	両方	Sample	はい	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

項目を編集する場合には、 を、削除する場合には をクリックします。

は、登録した項目をすべて削除します。

テーブル上に、IP アドレスが設定されていても、「有効」のチェックボックスがチェックされていないと設定は反映されません。



8.7 DMZ ホスト

公開される、または、直接 WAN(インターネット)に表示される特定の LAN 内ネットワーク デバイスを設定します。

「DMZ アドレス」には設定する LAN 内機器の IP アドレスを設定します。設定後 **適用** をクリックする事で、設定を有効にします。



9

ファイアウォール設定

特定のクッキー、java スクリプト、およびポップアップ ウィンドウ等をファイアウォールでブロックすることができます。特定のファイアウォール機能も有効にすることができます。ファイアウォールを常に有効に保つことは、DoS 攻撃からの保護のために特に推奨されます。

以下の機能を“有効”/“無効”のボタンを選択することで設定することができます。

「IPv4 ファイアウォール保護」は、ファイアウォールの設定レベルを設定します。以下の設定レベルから選択します。デフォルト値は、“低”です。

“オフ”：ファイアウォール(ステートフルパケットインスペクション)が設定されていない状態。

“低”：ファイアウォール(ステートフルパケットインスペクション)が設定されている状態。セキュリティレベル: 低。

“中”：ファイアウォール(ステートフルパケットインスペクション)が設定されていて、「許可されたサービス」以外のサービスが禁止されている状態。セキュリティレベル: 中。
以下のサービスが許容されます。

ファイアウォール設定 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



サービス	ポート番号		プロトコル
AIM/ICQ	5190	5190	TCP
DHCPv6	546	547	UDP
DNS TCP	53	53	TCP
DNS UDP	53	53	UDP
FTP-S	989	990	TCP
HTTP	80	80	TCP
HTTP ALT	8080	8080	TCP
HTTP-S	443	443	TCP
IMAP	143	143	TCP
IMAP-S	993	993	TCP
IPSec NAT-T	4500	4500	UDP
NTP	123	123	UDP
POP3	110	110	TCP
POP3-S	995	995	TCP
RADIUS	1812	1812	TCP
RADIUS	1812	1812	UDP
SMTP	25	25	TCP
SSH	22	22	TCP
SMTP-S	465	465	TCP
Steam	1725	1725	UDP
Steam Friends	1200	1200	UDP
Telnet-S	992	992	TCP
XBOX Live	3074	3074	TCP
XBOX Live	3074	3074	UDP
World of Warcraft	3724	3724	TCP
World of Warcraft	3724	3724	UDP
Yahoo Messenger	5050	5050	TCP

“高” : ファイアウォール(ステートフルパケットインスペクション)が設定されていて、「許可されたサービス」以外のサービスが禁止されている状態。セキュリティレベル: 高。
以下のサービスが許容されます。

サービス	ポート番号		プロトコル
DNS TCP	53	53	TCP
DNS UDP	53	53	UDP
HTTP	80	80	TCP
HTTP-S	443	443	TCP
IMAP-S	993	993	TCP
IPSec NAT-T	4500	4500	UDP
NTP	123	123	UDP
POP3-S	995	995	TCP
SSH	22	22	TCP
SMTP	25	25	TCP
SMTP-S	465	465	TCP

以下の機能を“有効”/”無効”のボタンを選択することで設定することができます。

- 「断片化 IP パケットブロック」のデフォルトは、“無効”です。
- 「ポート スキャン検出」のデフォルトは、“無効”です。
- 「IP フラッド検出」のデフォルトは、“無効”です。



10

Wi-Fi ネットワークの作成

SBG6580J はプライマリ Wi-Fi ネットワークと一時利用者向けのゲストネットワークの両方に対応しています。WPA/WPA2 を使用した強固なセキュリティを備えた Wi-Fi ネットワークを構築します。また、WPS ボタンを押すだけで、対応機器を簡単に Wi-Fi ネットワークに接続できます。

10.1 基本設定

無線接続に関する基本的な設定を行います。設定項目は全ての無線環境に影響を及ぼす為、注意が必要です。

「ワイヤレスインターフェイス」現在有効になっている全てのワイヤレスインターフェイスのネットワーク名 (SSID) と MAC アドレスを表示します。



「ワイヤレス」ワイヤレスインターフェイスのオン/オフの設定をプルダウンメニューより選択します。“有効”/“無効”より選択。デフォルトは“有効”。

「出力電力」電波法で規定された範囲内の送信出力の設定をプルダウンメニューより選択します。“25%”/“50%”/“75%”/“100%”より選択可能。デフォルトは、“100%”。

「802.11 バンド」 802.11 無線の使用する周波数の選択をプルダウンメニューより行います。“2.4GHz”/“5GHz”。デフォルトは、“2.4GHz”。各種無線規格により運用できる選択は異なります。

「802.11n 動作モード」 802.11n 無線の使用をプルダウンメニューより設定します。“自動”/“オフ”。“自動”では、無線子機が 802.11n に対応している場合、802.11n を使用することができます。“オフ”では、無線子機が 802.11n に対応している場合であっても、802.11n を使用することができません。デフォルトは、“自動”。

「802.11N 固定モード」 802.11n 無線のみ使用したい場合にこの項目をプルダウンメニューより設定します。“オフ”/“オン”。“オフ”では、「802.11n 動作モード」に従い運用しますが、“オン”では、無線子機が 802.11n でのみ運用を行います。デフォルトは、“オフ”。

「帯域幅」 帯域幅を大きくすることによって、高速通信に対応することができます(接続環境に依存します)。“20Mhz”/“40Mhz”の選択。デフォルトは、“20Mhz”。

「チャンネル」 アクセスポイントの動作チャンネルを指定します。設定した無線の状態から、使用可能なチャンネルがプルダウンメニューで表示されます。使用したいチャンネル番号を選択します。デフォルトは、使用チャンネル“1”。

設定を変更した場合には、**適用** をクリックし設定内容を適用します。また、無線に関する各設定値を初期化したい場合は、**ワイヤレスを既定値に復元** をクリックする事で実施します。

ワイヤレスアクセスポイント スキャン をクリックすると、SBG6580J 周辺に設置されているアクセスポイントの電波状態をモニターし表示します。接続環境を確認する場合に便利です。

以下のウィンドウがポップアップし、状態を表示します。

状態は、自動更新しないので **更新** をクリックすることで、最新の状態を表示することができます。



Residential GatewayScan Results - Windows Internet Explorer

http://192.168.100.1/wlanScanPopup.asp

MOTOROLA 更新

付近のワイヤレスアクセスポイント

ネットワーク名	セキュリティモード	モード	PHY モード	RSSI	強度	チャネル	BSSID
MM-Employee	WPA2 TKIP AES-CCMP	マネージド	802.11b/g	-49 dBm	***	11	00:a0:f8:e6:26:f8
auhome_a64MXe	WPA2-PSK AES-CCMP	マネージド	802.11n	-55 dBm	***	11	44:dc:91:6f:64:69
WARPSTAR-45ED5C-G	WPA-PSK AES-CCMP	マネージド	802.11b/g	-56 dBm	***	13	00:0d:02:a8:a7:ce
auhome_a64MXe-W	WEP	マネージド	802.11b/g	-55 dBm	***	11	44:dc:91:6f:64:6a
MM-Guest	WPA2-PSK TKIP AES-CCMP	マネージド	802.11b/g	-52 dBm	***	11	00:a0:f8:e6:26:f9
m-one	WPA-PSK AES-CCMP	マネージド	802.11b/g	-64 dBm	***	13	00:0d:02:43:42:97
MM-Employee	WPA2 TKIP AES-CCMP	マネージド	802.11b/g	-71 dBm	***	14	00:15:70:7e:4d:c0

Internet | Protected Mode: On 75%

10.2 プライマリネットワークの設定

このメニューでは通常使用する無線 LAN ネットワーク「プライマリネットワーク」のセキュリティに関する設定を行います。

「プライマリネットワーク」プライマリワイヤレスインターフェイスのオン/オフの設定をプルダウンメニューより選択します。“有効”/“無効”より選択。デフォルトは“有効”。

「ネットワーク名 (SSID)」ネットワーク名 (SSID) を任意のネットワーク名に変更することができます。デフォルトは、“MOTOROLA-XXXXX”が設定されていて、“XXXXX”は HFC MAC アドレスの一部が割り当てられています。

「SSID ブロードキャスト無効」ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを禁止することができます。プルダウンメニューより、“無効”/“有効”を選択します。デフォルトは、“無効”となっており、この場合、SSID はブロードキャストされています。

SSID ブロードキャスト: アクセスポイントが定期的にアクセスポイント名を発信すること。端末はこれによって、接続可能なアクセスポイントを認識することができます。



ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

基本

プライマリ ネットワーク

ゲスト ネットワーク

アクセス制御

VMM

ワイヤレス

プライマリ ネットワーク [ヘルプ](#)
このページでは、プライマリネットワークとセキュリティの設定を行います。

MOTOROLA-E3537 (20:10:7A:A1:DB:54)

プライマリ ネットワーク

有効

ネットワーク名 (SSID)

MOTOROLA-E3537

SSIDブロードキャスト無効

無効

WPA

無効

WPA PSK

有効

WPA2

無効

WPA2-PSK

有効

WPA/WPA2 暗号化

TKIP+AES

WPA 事前共有キー

☐ キー表示

RADIUS サーバー

0000

RADIUS ポート

1812

RADIUS キー

WEP 暗号化

無効

共有キー認証

オプション1

802.1x 認証

無効

ネットワーク キー 1

ネットワーク キー 2

ネットワーク キー 3

ネットワーク キー 4

現在のネットワーク キー

1

パスフレーズ

WEP キー生成

適用

自動セキュリティ設定

WPS

WPS

SBG6580J のデフォルトでは、WPA2-PSK を使用して WPS を有効にします。WPS を使用してワイヤレス セキュリティを強化します。

デバイス名 MotorolaAP

WPS セットアップ アクセスポイント

UUID:581a3875db8d015ba1a0a521765cd083

PIN: 74140329

PIN 生成

WPSプロセスの進行中にルータの近くにある他のワイヤレスクライアントに注意してください。

WPS クライアント追加

クライアント追加: [追加](#)

ピン:

許可されたクライアントMACアドレス:

©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.

無線セキュリティの設定および接続方法

1. 自動セキュリティ設定(WPS)を有効にするか無効にするか選択します。有効にした場合、“WPS 機能を使用した Wi-Fi ネットワークの作成”を使用することも可能です。
2. SBG6580J は、デフォルトで「ネットワーク名(SSID)」が設定されていますが、必要に応じてネットワーク名を「ネットワーク名(SSID)」フィールドに入力し変更します。
3. 以下の表中からセキュリティ方法を選択します。
4. デフォルトは、“WPA-PSK”/“WPA2-PSK” が有効になっています。

Wi-Fi ネットワークの作成 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



WPA	Wi-Fi 保護アクセス
WPA-PSK	事前共有キーおよび標準暗号を使用した Wi-Fi 保護アクセス
WPA2	事前共有キーおよび AES 暗号タイプの標準暗号を使用した Wi-Fi 保護アクセス バージョン 2
WPA2-PSK	事前共有キーを使用した Wi-Fi 保護アクセスバージョン 2
WEP	64bit/128bit が使用可能。802.11n モードが“無効”の場合にのみ設定可能。

注意: モトローラでは WPA2-PSK の使用を推奨しています。SBG6580J にはデフォルトの PASS KEY が設定されています。ワイヤレスアダプタの設定にはこのデフォルト PASS KEY を使用してください。セキュリティ強度を高めるため、PASS KEY 設定を変更することも有効です。

5. WPA/WPA2 の暗号化を選択します。以下の表を参照下さい。デフォルトは、“TKIP+AES”に設定されています。

AES	強度の最も高い暗号設定
TKIP	優れた互換性 (802.11n 設定のみ対応) があり、強度の高い暗号設定
TKIP および AES	TKIP および AES 対応クライアントへの接続に対応

6. **適用** をクリックします。
7. 無線 LAN 子機から、ネットワークを選択し、PASS KEY を入力し接続します。デフォルト PASS KEY は、SBG6580J 本体底面に印刷されています。

WPS 機能を使用した Wi-Fi ネットワークの作成

WPS 対応装置を Wi-Fi ネットワークに追加するには、次の 3 つの方法があります。モデムの設定画面にログインした後、次のいずれかの方法で装置を追加してください。

オプション1 - WPS プッシュボタン

1. メニューバーより、[ワイヤレス] をクリックします。
2. メニューボタンより、[基本] をクリックします。
3. **ワイヤレスを既定値に復元** を選択して、**適用** をクリックします。
4. メニューボタンより、[プライマリネットワーク] をクリックします。
5. 「自動セキュリティ設定」のプルダウンメニューから“WPS”を選択します。

Wi-Fi ネットワークの作成 ■



6. モデム本体前面の WPS ペアリングボタンを 5 秒以上押し続けた後、放します。“ワイヤレス”LED がオレンジに点滅し始めます。
7. WPS 対応子機で適切な SSID を選択し、装置の WPS ボタンを押して接続します。接続が完了すると、システムからその旨が通知されます。

オプション 2 – PIN

1. メニューバーより、[ワイヤレス] をクリックします。
2. メニューボタンより、[基本] をクリックします。
3. **ワイヤレスを既定値に復元** を選択して、**適用** をクリックします。
4. メニューボタンより、[プライマリネットワーク] をクリックします。
5. 「自動セキュリティ設定」のプルダウンメニューから“WPS”を選択します。
6. 装置名を入力します。
7. WPS 対応子機の PIN を「WPS 設定 AP」フィールドに入力します。
8. ウェブページに「AP は STA の接続を待機しています」と表示されるのを待ちます。
9. WPS 対応子機で無線ネットワークを選択し、PIN を使用して接続します。接続が完了すると、システムからその旨が通知されます。

オプション 3 – SBG6580J GUI のプッシュボタン方式

1. メニューバーより、[ワイヤレス] をクリックします。
2. メニューボタンより、[基本] をクリックします。
3. **ワイヤレスを既定値に復元** を選択して、**適用** をクリックします。
4. メニューボタンより、[プライマリネットワーク] をクリックします。
5. 「自動セキュリティ設定」のプルダウンメニューから“WPS”を選択します。
6. 「WPS クライアントの追加」オプションから、**追加** をクリックします。ウェブページに「WPS 構成中状態: 実行中」と表示されます。

7. WPS 対応子機でネットワーク名を選択します。
8. WPS 対応子機で適切な SSID を選択し、装置の WPS ボタンを押して接続します。接続が完了すると、システムからその旨が通知されます。

注意: WPS 対応子機の設定方法は、使用するワイヤレスアダプタやオペレーティングシステム (Windows および Mac など) によって異なります。物理的なボタンのあるアダプタがあれば、クライアント GUI を使って PIN またはプッシュボタン方式から選択できるものもあります。

Wi-Fi ネットワークの作成 ■



10.3 ゲストネットワークの設定

このメニューではゲストネットワークのセキュリティに関する設定を行います。SBG6580J が、ルーターモードでの動作中にのみ使用することができます。

基本

プライマリネットワーク

ゲストネットワーク

アクセス制御

VMM

ステータス

基本

詳細

ファイアウォール

ワイヤレス

ログアウト

MOTOROLA

ワイヤレス

ゲスト ネットワーク [ヘルプ](#)

このページでは、ゲストネットワークの設定を行います。

ゲスト ネットワーク MOTOROLA_GUEST (22:10:7A:A1:DB:55)

ゲスト	WiFi	セキュリティ設定	ゲスト LAN 設定
ゲスト ネットワーク	有効		DHCP サーバー 有効
ゲスト ネットワーク名 (SSID)	MOTOROLA_GUEST		IP アドレス 192.168.1.1
SSIDブロードキャスト無効	無効		サブネット マスク 255.255.255.0
ワイヤレスセパレーション	無効		開始リースプール 192.168.1.10
WPA	無効		最終リースプール 192.168.1.99
WPA PSK	無効		リース期間 36400
WPA2	無効		UPnP 有効 有効
WPA2-PSK	無効		ファイアウォール有効 無効

WPA/WPA2 暗号化 無効

WPA 事前共有キー

☐ キー表示

RADIUS サーバー 0000

RADIUS ポート 1812

RADIUS キー

WEP 暗号化 無効

共有キー認証 オプション

802.1x 認証 無効

ネットワーク キー 1

ネットワーク キー 2

ネットワーク キー 3

ネットワーク キー 4

現在ネットワーク キー 1

パスフレーズ

WEP キー生成

適用

適用

ゲストネットワークデフォルト再設定

©2013 Motorola Mobility, LLC. All rights reserved.

「ゲストネットワーク」プルダウンメニューより、設定を行うネットワークを選択します。「ゲストネットワーク」は最大で7つのネットワークを有効にすることができます。プルダウンメニューには、設定可能なデフォルトのゲストネットワーク名とMACアドレスが表示されます。



例) `MOTOROLA_GUEST (76:31:70:11:53:8D)`、`MOTOROLA_GUEST_0_1 (76:31:70:0B:04:8B)` ~
`MOTOROLA_GUEST_0_6 (76:31:70:0B:04:80)` デフォルトは、`MOTOROLA_GUEST`
(`xx:xx:xx:xx:xx:xx`)が選択されています。

「ゲストネットワーク」 ゲストネットワークインターフェイスのオン/オフの設定をプルダウンメニューより選択します。“有効”/“無効”より選択。デフォルトは“無効”。

全てのゲストネットワークはデフォルトは“無効”です。

「ネットワーク名 (SSID)」 ネットワーク名 (SSID)を任意のネットワーク名に変更することができます。デフォルトは、“MOTOROLA_GUEST”が設定されています。

「SSID ブロードキャスト無効」 ネットワーク名 (SSID)のブロードキャストを禁止することができます。プルダウンメニューより、“無効”/“有効”を選択します。デフォルトは、“無効”となっており、この場合、SSID はブロードキャストされています。

「ワイヤレスセパレーション」 モデムに無線で接続されている子機同士のブリッジによる通信を禁止することができます。プルダウンメニューより、“無効”/“有効”を選択します。

デフォルトは、“無効”となっており、この場合、子機同士のブリッジによる通信は可能です。

無線セキュリティの設定および接続方法

1. 「ゲストネットワーク」をクリックします。ゲストネットワークを“有効”にします。
2. 「ゲストネットワーク名 (SSID)」 より、必要に応じて、無線ゲストネットワーク名 (SSID)を変更します。
3. 次の中からセキュリティ方法を選択します。「WPA-PSK」または、「WPA2-PSK」を“有効”にします。WEP のみ対応する機器を接続する場合は、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」を“無効”に設定し、手順 6. に移行します。

WPA	Wi-Fi 保護アクセス
WPA-PSK	事前共有キーおよび標準暗号を使用した Wi-Fi 保護アクセス
WPA2	事前共有キーおよび AES 暗号タイプの標準暗号を使用した Wi-Fi 保護アクセス バージョン 2
WPA2-PSK	事前共有キーを使用した Wi-Fi 保護アクセス バージョン 2
WEP	64bit/128bit が使用可能。802.11n モードが“無効”の場合にのみ設定可能。



4. WPA/WPA2 暗号タイプを選択します。

AES	強度の最も高い暗号設定
TKIP	優れた互換性(802.11n 設定のみ対応)があり、強度の高い暗号設定
TKIP および AES	TKIP および AES 対応クライアントへの接続に対応

5. 「WPA 事前共有キー」フィールドに新しい PASS KEY 文字列を入力します。
- セキュリティ強度を高めるため、モトローラではゲストネットワーク向けに異なる事前共有キーを使用することを推奨しています。
 - 「WPA 事前共有キー」フィールドに新しい PASS KEY 文字列を入力します。
- 手順 9.へ移行します。
6. 「WEP 暗号化」フィールドで、WEP 暗号化方式を選択します。“無効”/“64bit”/“128bit”より選択します。
7. 「パスフレーズ」フィールドに任意の文字列を設定します。
8. **WEPキー生成** をクリックし、ネットワークキーを生成します。
9. **適用** をクリックします。
10. 無線 LAN 子機にて、ゲストネットワークを選択し、任意の“PASS KEY”または、“ネットワークキー”を用いてワイヤレス接続を行います。

ゲスト LAN 設定

「ゲスト LAN 設定」 ゲストネットワーク毎の LAN 設定を行います。

「DHCP サーバー」 DHCP サーバーの“有効”/“無効”をプルダウンメニューより設定します。デフォルトは、“有効”となっています。

「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「開始リースプール」、「最終リースプール」等、ゲストネットワークの IP アドレスに関連する項目を設定します。デフォルトは、インターフェイスに対応して以下になっています。

SSID	IP アドレス	サブネットマスク	開始リースプール	最終リースプール
MOTOROLA_GUEST	192.168.1.1	255.255.255.0	192.168.1.10	192.168.1.99
MOTOROLA_GUEST_0_1	192.168.2.1	255.255.255.0	192.168.2.10	192.168.2.99
MOTOROLA_GUEST_0_2	192.168.3.1	255.255.255.0	192.168.3.10	192.168.3.99
MOTOROLA_GUEST_0_3	192.168.4.1	255.255.255.0	192.168.4.10	192.168.4.99
MOTOROLA_GUEST_0_4	192.168.5.1	255.255.255.0	192.168.5.10	192.168.5.99
MOTOROLA_GUEST_0_5	192.168.6.1	255.255.255.0	192.168.6.10	192.168.6.99
MOTOROLA_GUEST_0_6	192.168.7.1	255.255.255.0	192.168.7.10	192.168.7.99

「リース期間」 DHCP による IP リース期間を設定します。デフォルトは、86400（秒）です。



[UPnP 有効]設定のデフォルトは、“有効”です。
「ファイアウォール有効」設定のデフォルトは、“無効”です。

設定後、**適用** をクリックすることで、設定値が適用されます。

ゲスト ネットワークデフォルト再設定 をクリックして、ゲストネットワークに関するすべての設定をデフォルトに戻すことができます。

10.4 アクセス制御の設定

無線 LAN では、ワイヤレスインターフェイス毎に、MAC アドレスによるアクセス制限を行うことができます。各インターフェイスにそれぞれ最大 16 個の MAC アドレスが登録できます。

「MAC 制限モード」は、プルダウンメニューより“無効”/“許可”となります。

無効の場合、テーブルに MAC アドレスが登録されている場合であっても、制限は適用されません。有効の場合、テーブルに登録されている MAC アドレスのみ通信が許可されます。

デフォルトは、“無効”となっています。

注意:プライマリネットワークで WPS を使用して接続されたデバイスの MAC アドレスは自動的にアクセス制御テーブルに登録されます。MAC 制限モードは変更されません。

The screenshot shows the Motorola SURFboard web interface. The top navigation bar includes links for Status, Basic, Advanced, Firewall, Wireless, and Logout. The left sidebar has a Motorola logo and buttons for Basic, Primary Network, Guest Network, Access Control, and WMM. The main content area is titled 'ワイヤレス' (Wireless) and 'アクセス制御' (Access Control). It includes a help link and a description: 'このページでは、アクセスポイントへの接続制御の設定を行います。また、接続中ワイヤレスデバイスのステータスを表示します。' (On this page, you can set the connection control for the access point. It also displays the status of the connected wireless devices.)

Below the description, there is a dropdown menu for 'ワイヤレス インターフェイス' (Wireless Interface) set to 'MOTOROLA-E77C9 (74:31:70:11:53:8C)'. A table for MAC address control is shown with a 'MAC制限モード' (MAC Restriction Mode) dropdown set to '無効' (Disabled). The table has columns for 'MAC アドレス' (MAC Address), '接続時間 (秒)' (Connection Time (s)), 'RSSI(dBm)', 'IP Addr', 'デバイス名' (Device Name), 'モード' (Mode), and '速度 (kbps)' (Speed (kbps)).

MAC アドレス	接続時間 (秒)	RSSI(dBm)	IP Addr	デバイス名	モード	速度 (kbps)
C8:AA:21:09:03:61	1	-41	192.168.0.3	android_fe158444da3804e	n	5500

At the bottom of the table, there is a '適用' (Apply) button. Below the table, there is a section titled '接続中ワイヤレスデバイス' (Connected Wireless Devices) which contains the table above.

At the very bottom of the page, there is a copyright notice: '©2013 Motorola Mobility, LLC All rights reserved.'



通信を許可する端末の MAC アドレスを以下の手順で登録します。

1. 適用するワイヤレスインターフェイスをプルダウンメニューより選択。

ワイヤレス インターフェイス	MOTOROLA-ECA6B (74:31:70:0B:04:89) ▼
----------------	--------------------------------------

2. MAC アドレステーブルに適用する MAC アドレスを設定。
3. MAC 制限モードを選択。

MAC制限モード	無効 ▼	
MAC アドレス		

適用

4. 適用 をクリック。

各ワイヤレスインターフェイスに接続中のワイヤレスデバイスの状態が表示されます。

接続中ワイヤレスデバイス						
MAC アドレス	接続時間 (秒)	RSSI(dBm)	IP Addr	デバイス名	モード	速度 (kbps)
C8:AA:21:09:03:61	1	-41	192.168.0.3	android_fef584444da3804e	n	5500



10.5 WMM(Wi-Fi マルチメディア)の設定

Wi-Fi マルチメディアに関する設定を行います。

ワイヤレス	
WiFiマルチメディア (WMM) ヘルプ	
このページでは、WMMの設定を行います。	
WMM サポート	<input type="button" value="オン"/>
No ACK サポート	<input type="button" value="オフ"/>
省電力対応	<input type="button" value="オン"/>
<input type="button" value="適用"/>	

©2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.

「WMM サポート」プルダウンメニューより、WMM サポートの“オン”/“オフ”を選択します。“オン”の場合、WMM 情報は、ビーコンフレームに含まれます。デフォルトは、“オン”になります。

「No ACK サポート」プルダウンメニューより、ACK メッセージの“オン”/“オフ”を選択します。“オン”の場合、ACK メッセージは送信されません。デフォルトは、“オフ”になります。

「省電力対応」プルダウンメニューより、省電力対応の“オン”/“オフ”を選択します。“オン”の場合、アクセスポイント は省電力モードになっている 端末のパケットを蓄積します。端末が省電力モードでは無くなったことがアクセスポイントに通知されると、蓄積されたパケットを送信します。デフォルトは、“オン”になります。



A

トラブルシューティング

ここに記載されている解決法によって問題が解決しない場合は、契約インターネットサービスプロバイダにお問い合わせ下さい。





SBG6580J が正常に機能しない場合は、SBG6580J を工場出荷時の状態にリセットしなければならない可能性があります (リセットボタンを使用するとファイアウォール、詳細設定を含むカスタム設定が消去されます)。

モデムの問題	考えられる解決方法
電源ライトが消えている	<ul style="list-style-type: none">SBG6580J の電源コードがコンセントへ適切に差し込まれているかどうかを確認してください。コンセントが正常に機能していることを確認してください。リアパネルの [デフォルトリセットスイッチ] を押します。
データの送受信ができない	<ul style="list-style-type: none">前面のパネルでアイコンの状態を確認し、次頁の「フロントパネルアイコンおよびエラー状態」を参照してエラーの状態を特定します。ケーブルテレビを使用している場合、テレビが映るかどうか、またテレビ画像が乱れていないかを確認してください。通常のテレビチャンネルを受信できない場合、データサービスが機能していません。SBG6580J の同軸ケーブルおよびコンセントを確認してください。必要があればきつく締め直します。IP アドレスを確認します。“4.2 パソコンの LAN 設定”に記載の手順に従い、お使いのシステムの IP アドレスを確認してください。IP アドレスが必要な場合は、ご加入のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。イーサネットケーブルが SBG6580J およびコンピュータへ適切に接続されていることを確認してください。
ワイヤレスクライアントでデータの送受信ができない	<ul style="list-style-type: none">「データの送受信ができない」に記載されている最初の 4 つの点検を行います。「無線プライマリネットワーク」ページにあるセキュリティモード設定を確認します。上で WPA を有効にし、SBG6580J でパスフレーズを設定した場合、影響を受ける各ワイヤレスクライアントが同じパスフレーズを持っていることを確認します。これにより問題が解決しない場合は、ワイヤレスクライアントが WPA をサポートしているかどうかを確認します。上で WEP を有効にし、SBG6580J でキーを設定した場合、影響を受ける各ワイヤレスクライアントが同じ WEP キーを持っていることを確認します。上記を行っても問題が解決しない場合は、クライアントワイヤレス アダプタが SBG6580J で設定した WEP キーの種類をサポートしているかどうかを確認します。問題の原因を見つけるためセキュリティモードを一時的に停止するには、SBG6580J 設定画面 ([ワイヤレス][プライマリネットワーク])からワイヤレスセキュリティを無効にします。問題が解決したら、ワイヤレスセキュリティを必ず再度有効にしてください。SBG6580J 設定画面 ([ワイヤレス][アクセス制御])で、影響を受ける各ワイヤレスクライアントの MAC アドレスが正しくリストに記載されていることを確認します。
WPA が有効になっていると、無線伝送速度が遅い	<ul style="list-style-type: none">SBG6580J 設定画面 ([ワイヤレス][プライマリネットワーク])で、WPA の暗号タイプが TKIP に設定されていることを確認します。すべてのワイヤレスクライアントが AES をサポートしている場合、WPA を AES に変更してください。



フロントパネルアイコンおよびエラー状態

SBG6580J の前面パネルは次のステータス情報を示しています。

アイコン	STATUS	スタートアップ中の原因	通常動作中の原因
	オフ	SBG6580J が電源コンセントへ適切に差し込まれていない	SBG6580J のコードが抜けている
	点滅	ダウンストリーム受信チャンネルが取得できない	ダウンストリームチャンネルを喪失した
	点滅	アップストリーム送信チャンネルが取得できない	アップストリームチャンネルを喪失した
	点滅	IP 登録に失敗した	IP 登録が喪失した



B

製品仕様

基本仕様

DOCSIS/EuroDOCSIS 3.0認証 (DOCSIS/EuroDOCSIS 1.0および1.1、2.0と相互操作可)

ケーブルインターフェース Fコネクタ、メス、75 Ω
ネットワークインターフェース 4ギガビット(10/100/1000)イーサネットポート

Wi-Fi

802.11n Wi-Fi(802.11 a/b/gとの上位互換性あり)

寸法

6.6インチx1.9インチx6.8インチ (167mmx50mmx171.7mm)

規則

RoHS準拠、FCC、UL認定(米国およびカナダ)、カナダ産業省、CE、ENERGY STAR認定、CoC準拠、MEPS準拠

入力電圧

北米 105~125VAC、60Hz
北米以外 100~240VAC、50Hz~60Hz

環境条件

動作温度 0° C~40° C
保管温度 -30° C~70° C
動作湿度 5~95% R.H. (結露なきこと)

ダウンストリーム

変調方式 64または256QAM
ダウンストリームチャネル取り込み2基の個別の32MHz広帯域チューナ

最大理論データ転送速度

DOCSIS 256QAM、5.36Msym/sで343.072Mbps(8チャネル)/42.884Mbps(単一チャネル)

最大必要帯域幅

DOCSIS ≤ 48 MHz/2

シンボルレート

DOCSIS 64QAM 5.057 Msym/s、256QAM 5.361 Msym/s

動作レベル範囲

-15~15dBmV

ボンディングチャネル内RF

レベルの許容範囲

10dBmV

入カインピーダンス

75Ω(通常時)

周波数範囲

(DOCSIS) ~1002MHz(エッジからエッジまで)

周波数プラン

DOCSIS

Annex B

J-DOCSIS

Annex B(日本の周波数用に修正)

セキュリティ

DOCSIS 3.0 Security(BPI+、EAE、AES、SSD)

ネットワーク管理

SNMP v2およびv3

追加機能

Pv4および/またはIPv6(デュアルスタック)を使用したIPアドレッシングのサポート

製品仕様 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



アップストリーム

変調方式	QPSKおよび8、16、32、64、128QAM
最大チャンネル速度	
DOCSIS	131.072Mbps(4チャンネル)/32.768Mbps(単一チャンネル) @ 128QAM(6.4MHz)
チャンネル幅	200kHz、400kHz、800kHz、1.6MHz、3.2MHz、6.4MHz
シンボルレート	160、320、640、1280、2560、5120ksym/s
動作レベル範囲	1チャンネル当たりのレベル範囲(マルチプルトランスミットチャンネルモードが無効、またはTCS内の1チャンネルでのみ有効)
DOCSIS	
TDMA	出力最少～最大+57dBmV(32QAM、64QAM) 出力最少～最大+58dBmV(8QAM、16QAM) 出力最少～最大+61dBmV(QPSK)
S-CDMA	出力最少～+56dBmV(すべての変調方式)ただし、 出力最少 = +17dBmV、1280kHz 変調速度 出力最少 = +20dBmV、2560kHz 変調速度 出力最少 = +23dBmV、5120kHz 変調速度
1チャンネル当たりのレベル範囲(TCS内に2チャンネル)	
TDMA	出力最少～最大+54dBmV(32QAM、64QAM) 出力最少～最大+55dBmV(8QAM、16QAM) 出力最少～最大+58dBmV(QPSK)
S-CDMA	出力最少～+53dBmV(すべての変調方式)ただし、 出力最少 = +17dBmV、1280kHz 変調速度 出力最少 = +20dBmV、2560kHz 変調速度 出力最少 = +23dBmV、5120kHz 変調速度
1チャンネル当たりのレベル範囲(TCS内に3つまたは4つのチャンネル)	
TDMA	出力最少～最大+51dBmV(32QAM、64QAM) 出力最少～最大+52dBmV(8QAM、16QAM) 出力最少～最大+55dBmV(QPSK)
S-CDMA	出力最少～+53dBmV(すべての変調方式)ただし、 出力最少 = +17dBmV、1280kHz 変調速度 出力最少 = +20dBmV、2560kHz 変調速度 出力最少 = +23dBmV、5120kHz 変調速度
出力インピーダンス	75Ω(通常時)

製品仕様 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



アップストリーム(続き)

周波数範囲

DOCSIS 5~65MHz(エッジからエッジまで)

互換性

PC: 90496、Pentiumまたはそれ以降、Windows Vista™、2000、XPまたはLinuxのイーサネット接続(これらのWindowsより古いバージョンは特にサポートされませんが、このケーブルモデムでは動作する場合があります)

Macintosh: Power PCまたはそれ以降、OS 9またはそれ以降、イーサネット接続

UNIX: イーサネット接続ホームネットワーキング: イーサネットルーターまたはWi-Fiアクセスポイント

ネットワーク

ゲートウェイ

DHCP、NAT、VPNトンネリング、静的ルーティング、動的IPルーティング(RIPv1、RIPv2); DoS 保護および侵入保護機能付きSPIファイアウォール; ポート、パケット、URLキーワードフィルタリング; ALG一式、UPnP IGD 1.0; L2TPv2

Wi-Fi LAN

802.11b/g/n Wi-Fi、WDSブリッジ、802.11e WMM許可制御、QoS

電源管理

802.11e WMM 省電力/U-APSD(不定期自動省電力配信)

802.11i セキュリティ

WEP-64/128、WPA-PSK、WPA、WPA2、TKIP、AES、802.1x、802.11i(事前認証)

Wi-Fiペアリング

WPS互換機器との接続向けのユーザーフレンドリーなWPS(Wi-Fi Protected Setup)

規制管轄

米国、カナダ、欧州電気通信標準化機構(ETSI)、世界各国を含む

送信電力出力:

IEEE 802.11b 19 dBm +1/-1.5 dB(すべてのチャネルのあらゆる速度において)

IEEE 802.11g 16 dBm +1/-1 dB at 54 Mbps(すべてのチャネルにおいて)

受信感度:

>11 Mbpsで-90 dBm;

>54 Mbpsで-74 dBm

すべての特徴および機能、その他の製品仕様は予告またはその義務なしに変更される場合があります。

製品仕様 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



ソフトウェアライセンスおよび保証

SURFboard SBG6580J シリーズ Wi-Fi ケーブルモデム Gateway

Motorola, Inc.

Home & Networks Mobility Solutions Business (“Motorola”)

101 Tournament Drive

Horsham, PA 19044

ソフトウェアライセンス

重要: いかなるソフトウェア、ファームウェアおよび関連文書（以下「ソフトウェア」）をダウンロード、インストール、ご使用される前に、本ソフトウェア契約書（以下「契約書」）とモトローラのケーブルデータ製品（以下「ケーブルデータ製品」）の添付文書を良くお読みください。ケーブルデータ製品を使用するためにいかなるソフトウェアをインストール、ダウンロード、そして使用した場合、お客様が本契約書の各条項に合意したものと見なします。本契約書はお客様とモトローラとの合意の上で締結された法的な契約書になります。本契約書の条項は、本ソフトウェアを使用するお客様および本製品を受け継いで使用するすべてのユーザーに適用されます。

本契約書の条項に同意されない場合、(I)本ソフトウェアを未使用のまま、(II)すべてのコンポーネント、文書、その他ケーブルモデムに付属した全製品を含む、ケーブルモデムおよびソフトウェアをご返品いただければ、購入代金を全額払い戻しいたします。ソフトウェアのインストールまたはご使用によって、お客様が本ライセンス契約の条項によって拘束されることに合意したものと見なします。

ここで「ソフトウェア」とは関連した媒体、印刷物、オンラインまたは電子文書を含むものとします。当社以外より提供されたソフトウェアは、そのソフトウェア製造業者から別途提供されるエンドユーザー使用許諾契約の対象となります。

「ソフトウェア」は販売されるものではありません。モトローラは最初のお客様あるいはそれ以降のユーザーに、本契約書の条件に従う場合に限り、個人使用に限りソフトウェアの使用を許諾します。モトローラ社と第三者の使用許諾者が、ソフトウェアの所有権を留保します。

許諾事項:

この製品の操作にのみ本ソフトウェアを使用してください。

本契約書の全条項に合意する場合に限り、ソフトウェア（すべてのコンポーネントパーツや印刷物を含む）を他人に永久的に譲渡できます。ソフトウェアを譲渡する場合、製品と（該当する場合は）すべてのソフトウェア複製物を同時に譲渡するか、すべての複製物を破棄する必要があります。

いかなる形態であっても、本ソフトウェアの原版および（該当する場合は）全複製物を破棄することにより、本契約を終了できます。



禁止事項:

(1) 上記の「譲渡」の項目で許可されている場合を除き、ソフトウェアや説明書(またはソフトウェアや説明書の複製)の貸出し、配布、レンタル、リース、贈与、サブライセンス、その他の譲渡を行うことはできません。(2) 個人的な使用を除き、ソフトウェアに含まれるユーザーガイドの複製または翻訳。(3) ソフトウェアの複製、変更、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング。これらには、互換性のないハードウェアでできるように本ソフトウェアを変更することも含まれますが、これらに限定されるものではありません。(4) ソフトウェアのプログラムや文書の著作権情報やスタートアップメッセージが表示されないようにする削除、改ざん、または処理。(5) 米国のいずれかの輸出法令に違反するソフトウェアまたは製品コンポーネントの輸出。

本ソフトウェアは、航空機のオンライン制御、航空交通、航空機ナビゲーション、または航空機通信、ならびに原子力施設の設計、建設、運営や維持を意図とするものではありません。モトローラと第三者使用許諾者は、このような使用について明示または黙示の保証は致しません。お客様は、本製品をそれらの目的に使用しないことを表明および保証するものとします。

本製品、ソフトウェア、説明書に関するすべての権利は、著作権、マスクワーク権、特許権、商標、およびすべての知的所有権を含み、今後の改ざんや修正を含め、すべてモトローラに属します。モトローラは、本契約書に明記されていない他のすべての権利も保有します。本製品、本ソフトウェアおよび説明書は、イメージ、グラフィクス、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、すべてを含めモトローラまたはそのサプライヤーが所有し、米国の著作権法と国際著作権条約で保護されています。本契約書で明記されている場合を除き、製品または文書のいかなる部分の複製、再版、配布、派生物の作成も、これらの法規および条約により厳格に禁止されています。本契約書のいかなる記述も、米国著作権法に基づくモトローラの権利を放棄するものではありません。

本ライセンス、およびライセンスに記載されているお客様の権利は、法による原則に抵触する場合を除き、米国ペンシルベニア州法に基づくものです。お客様が本契約書の条項に違反した場合、ライセンス契約は自動的に解除されます。

モトローラは、本ソフトウェアに同梱されている、またはその他の手段で本ソフトウェアとともに供給される他社製のソフトウェアについて、一切の責任を負いません。

米国政府の制限付き権限

本ソフトウェアと文書は、権利が制限された状態で提供されます。米国政府により、本製品の使用、配布、公開は、「The Rights in Technical Data and Computer Software 条項 52.227-7013」の節 (c)(1)(ii) に規定されている制約に準拠するものです。請負者/製造者は Motorola Inc., Home & Networks Mobility Solutions Business、所在地は 101 Tournament Drive, Horsham, PA 19044 です。



保証に関する情報

SURFboard SBG6580J Wi-Fi ケーブルモデムゲートウェイ

Home & Networks Mobility (“Motorola”)

ケーブル事業者またはインターネットサービスプロバイダから提供されたお客様

本製品をモトローラまたはモトローラの正規販売店から直接ご購入されたのではない場合、モトローラはエンドユーザーであるお客様に対して、本製品を保証いたしません。本製品（ソフトウェアを含む）の限定保証は、お客様へ本製品をお渡ししたケーブル事業者またはインターネットサービスプロバイダ（「サービスプロバイダ」）によって提供されます。本製品について問題が発生した場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

一般情報。以下の事項に対し、保証は適用されません。(i) 事故、誤用、過失、改造、天災、不適切な取り扱い、不適切な移動、不適切な保管、不適切な使用または適用、不適切なインストール、不適切なテストまたは権限なく行われた修理の影響を受けたあらゆる製品。(ii) 表面上の問題または普通に使用した場合に起こる通常範囲での磨耗で製品の性能および使用に影響を与えない場合。モトローラの保証は、モトローラによって製造され、モトローラが所有する商標および商標名または製品に取り付けられた識別ロゴによって識別された製品のものに適用されます。モトローラはエンドユーザーであるお客様に対して、いかなるソフトウェアについてもエラーが発生しない、または不具合がないことを保証するものではありません。モトローラ社以外より提供されたいかなるソフトウェアに関しても一切責任を負わないものとし、これらのソフトウェアは「現状のまま」提供されるものです。本セクション（「保証に関する情報」）で記載した事項を除き、本製品に関する商品性、特定目的への適合性、または商業規制によって定められている侵害に対する黙示の保証を含め（但し必ずしもこれに限定しない）明示的、暗示的、または制定法であることを問わず、いかなる保証あるいは表現を行うものではありません。黙示の保証の除外を認めない州については、上記の除外は適用されません。

その他の知っておくべき条件について：モトローラはお客様が本製品をご購入になった目的または用途について知ることはできませんので、お客様がインストールおよび使用において製品の選択に全責任を負うものとします。お客様が製品を使用しながらお楽しみいただけることを保証するよう試みしていますが、モトローラは製品の機能がお客様の要求を満たすこと、または中断あるいはエラーなく製品が作動することは保証いたしません。モトローラは、この製品と他のいかなるソフトウェアおよびハードウェアを組み合わせでご使用になった場合に発生した問題または損傷に対する責任を負いません。製品を分解、変更、または破損した場合、すべての保証は無効となります。

これらは、お客様自身または他の人物によるもの、あるいは契約または不正行為によるものにかかわらず、この製品について起こる、あるいはこの製品に関連して起こる可能性のある、あらゆる要求に対する単独および唯一の救済法とします。

モトローラは製品を使用しない、あるいは製品が稼働できないことによって生じる、または保証違反により（遺失利益、営業妨害、情報の損失、その他あらゆる金銭的損害を含むがそれらに限定されない）、直接的、間接的、一般的、特別、付随的または派生的な懲戒的または他の損害について、モトローラがかかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切の責務を負わないものとします。いかなる場合であっても、モトローラの保証は、お客様が製品に対して実際に支払われた金額を超えないものとします。

ソフトウェアライセンスおよび保証 ■

Motorola SURFboard ■ ユーザーガイド



モトローラの保証は、抵触法あるいは国際連合条約の国際売買契約法の条項を除き、ペンシルバニア州法に準拠するものとします。

モトローラ、Intelligence Everywhere、SURFboard および M 形状のロゴはアメリカ合衆国特許および登録商標庁に登録されています。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。All rights reserved. 掲載された内容をいかなる形式であれ発行者の許可なく複製・引用・転載することを禁じます。© Motorola, Inc. 2010.

Motorola, Inc.
101 Tournament Drive
Horsham, PA 19044 U.S.A.

<http://www.motorola.com>

MOTOROLA と M のロゴの図案は米国特許商標局に登録されています。その他すべての製品名とサービス名は、
該当する各所有者が権利を有しています。© 2010 Motorola, Inc. All rights reserved.
574808-003-a 05/10